

令和4年度
宮崎県ひきこもり等に関する
アンケート調査結果報告書



令和5年2月
宮崎県福祉保健部障がい福祉課

〈 目 次 〉

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果	
民生委員・児童委員を対象とした実態把握調査	3
ひきこもりの当事者や家族等を対象とした支援ニーズ調査(当事者又は経験者)	17
ひきこもりの当事者や家族等を対象とした支援ニーズ調査(家族等)	29
第3章 資料編	
実態調査アンケート資料	41
ニーズ調査アンケート資料	48

第1章 調査の概要

1 目的

本県では、平成30年度に民生委員・児童委員を対象に、ひきこもりに関するアンケート調査を実施したところであるが、当該調査から3年が経過していることから、再度調査を実施し、コロナ禍の影響も踏まえた現在の実態を把握することにより、より効果的なひきこもり支援策を検討するための資料とする。

また、調査結果は市町村等と共有し、地域における支援体制の強化を図る。

2 調査内容

(1) 民生委員・児童委員を対象とした実態把握調査

① 調査対象

おおむね15歳から65歳までで、次に該当するような「ひきこもり等の状態にある方」

・仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人と交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方

・仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人と交流はないが、時々(会話を必要としない)買い物などで外出することがある方

② 調査基準日

令和4年9月1日現在

③ 調査方法

県内全ての民生委員・児童委員2,281名に対するアンケート調査

④ 回答数

1,370人(60.1%)

(2) ひきこもりの当事者や家族等を対象とした支援ニーズ調査

① 調査対象

ひきこもりの当事者又は経験者及びその家族(広く回答者を募集)

② 調査期間

令和4年11月～令和4年12月

③ インターネット及び紙媒体を活用したアンケート調査

④ 回答数

ひきこもり当事者及び経験者 : 59人

家族等 : 130人

3 その他

(1) 調査用紙に一部未回答の項目があった場合においても、回答のあった項目については有効な回答として取り扱っている。そのため、各質問事項によって回答数が異なっている場合がある。

(2) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

(3) 自由記述については、回答いただいたものの中から、記述の量や重複を考慮し、主なものを抜粋し記載している。

4 調査実施及び集計・分析

宮日総合広告株式会社

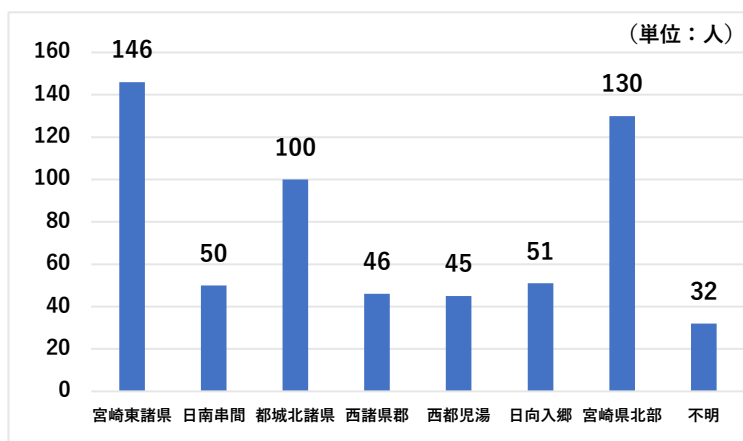
第2章 調査結果

民生委員・児童委員を対象とした実態把握調査

民生委員・児童委員を対象とした実態把握調査結果

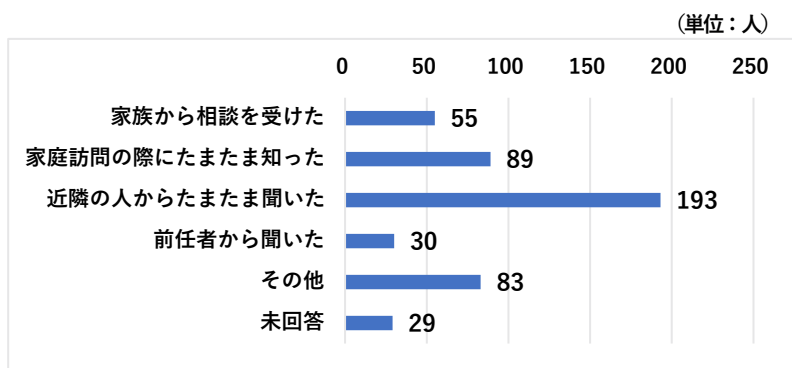
1 該当者の人数

本調査により把握できた該当者の総数は、600 人となっている。



2 ひきこもりの状態にある方を把握する機会

家族から相談を受けた。	55
家庭訪問の際にたまたま知った。	89
近隣の人からたまたま聞いた。	193
前任者から聞いた。	30
その他	83
未回答	29

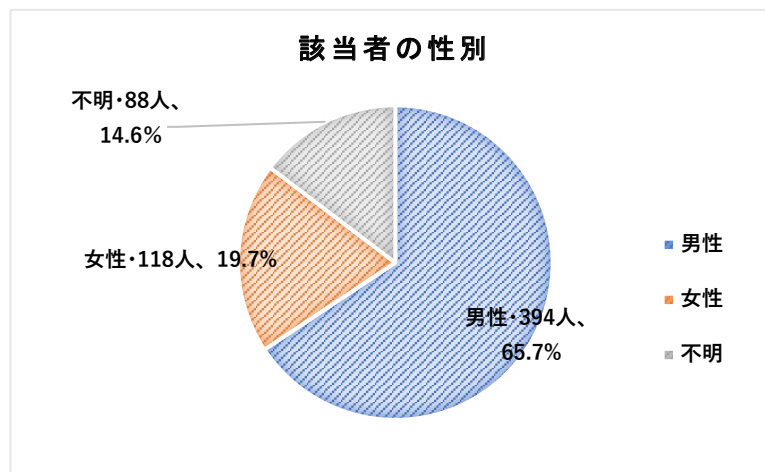


<その他記述>

- ・自宅訪問時の話の中で、ひきこもりかなと思われたので
- ・登校指導をしていて姿を見ないので他の生徒に聞く
- ・生保申請の際、事情を聴いた
- ・市内に住む本人の母親から社協へ相談。民生委員に時々、訪問して欲しいとの依頼(地域との交流がないため)
- ・精神保健センターや包括支援担当者より連絡入る

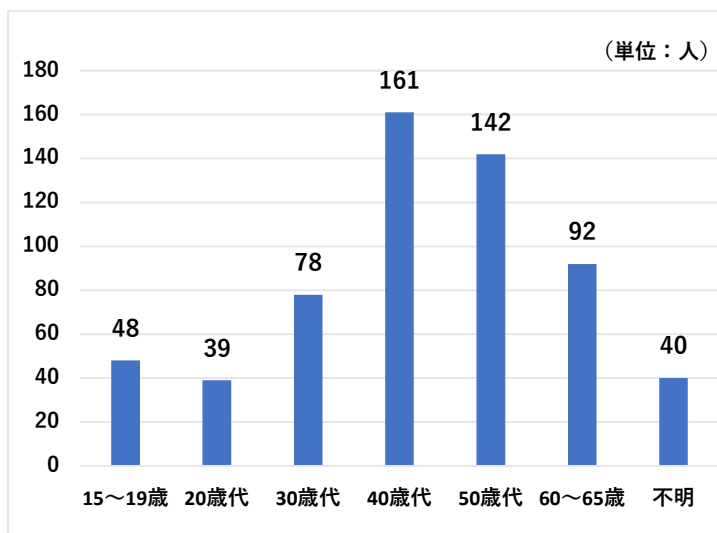
3 該当者の性別

該当者の性別は、男性が 394 人 (65.7%)、女性が 118 人 (19.7%)、となっており、男性が女性の約 3 倍以上となっている。



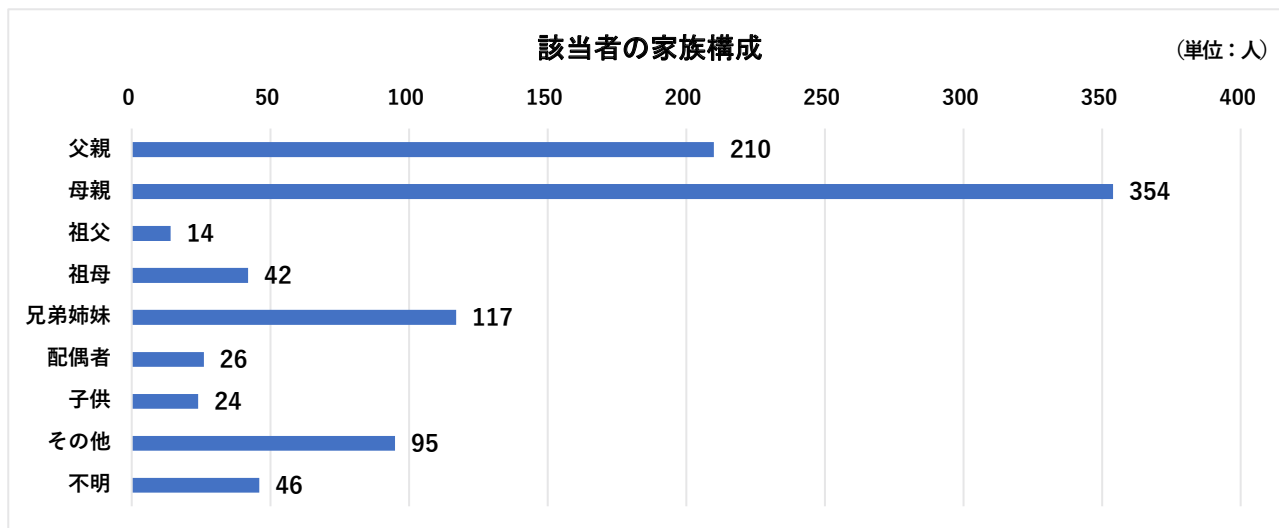
4 該当者の年代別状況

年代別では、40歳代が161人(26.8%)と最も多く、次に50歳代が142人(23.7%)となっている。中高年層(40歳代から65歳)が395人(65.8%)と若者層(15歳から39歳)165人(27.5%)を上回っている。



5 該当者の家族構成 (複数回答)

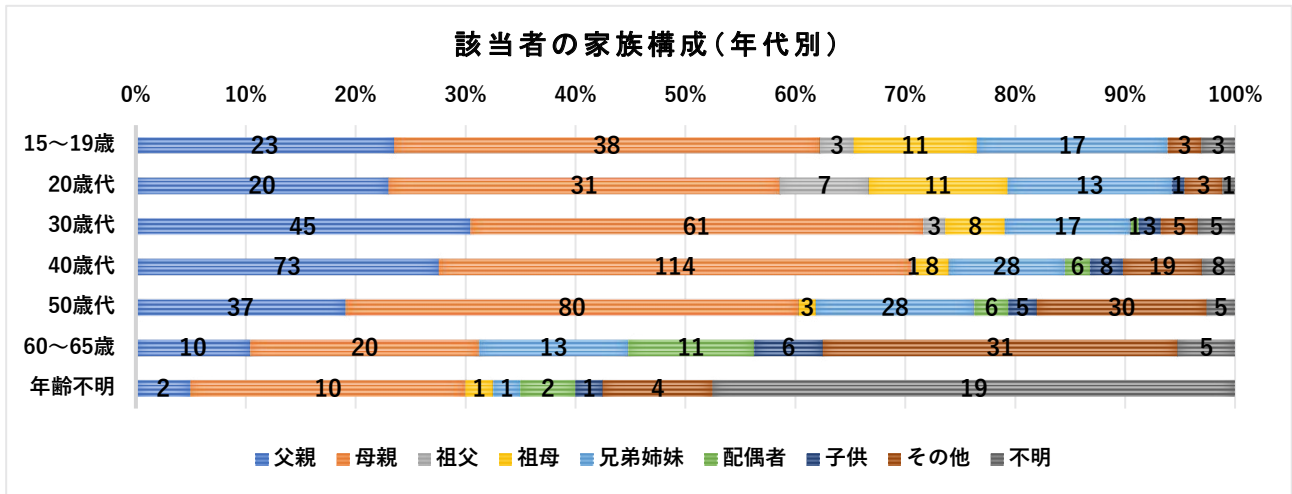
家族構成では、母親と同居している場合が最も多く354人(59.0%)、次いで父親が210人(35.0%)となっており、親との同居が多い。



【クロス集計】年代別と家族構成

該当者の家族構成(年代別)

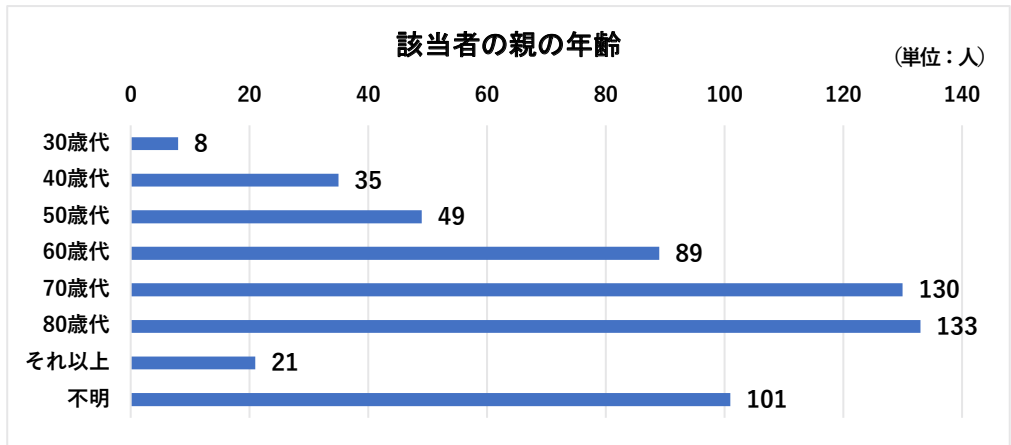
	父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	配偶者	子供	その他	不明	合計
15～19歳	23	38	3	11	17	0	0	3	3	98
20歳代	20	31	7	11	13	0	1	3	1	87
30歳代	45	61	3	8	17	1	3	5	5	148
40歳代	73	114	1	8	28	6	8	19	8	265
50歳代	37	80	0	3	28	6	5	30	5	194
60～65歳	10	20	0	0	13	11	6	31	5	96
年齢不明	2	10	0	1	1	2	1	4	19	40
合計	210	354	14	42	117	26	24	95	46	928



6 該当者の親の年齢

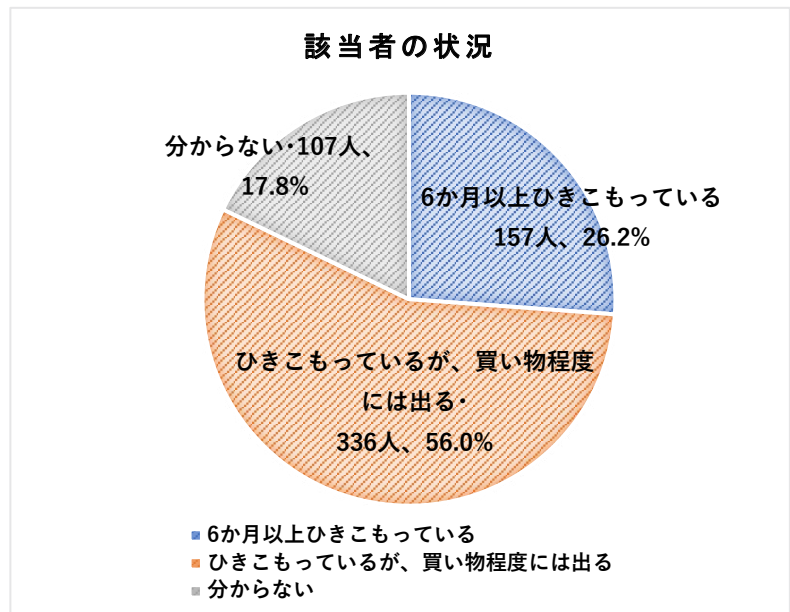
70歳代と80歳代が多く、それ以上も含め高齢化していることが顕著となっている。

30歳代	8
40歳代	35
50歳代	49
60歳代	89
70歳代	130
80歳代	133
それ以上	21
不明	101



7 該当者の状況

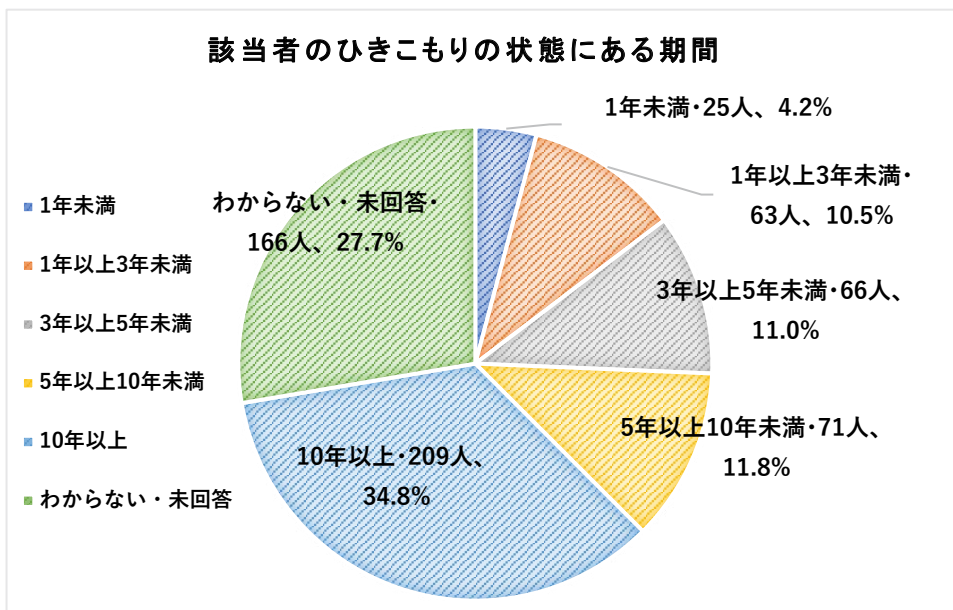
「ひきこもっているが、買い物程度には出る」が336人(56.0%)と最も多く、次に、「6か月以上ひきこもっている」が157人(26.2%)となっている。



8 該当者のひきこもりの状態にある期間

10年以上ひきこもっている状態にある人が209人(34.8%)で最も多く、次に5年以上10年未満が71人(11.8%)となっている。

1年未満	25
1年以上3年未満	63
3年以上5年未満	66
5年以上10年未満	71
10年以上	209
わからない	123
未回答	43

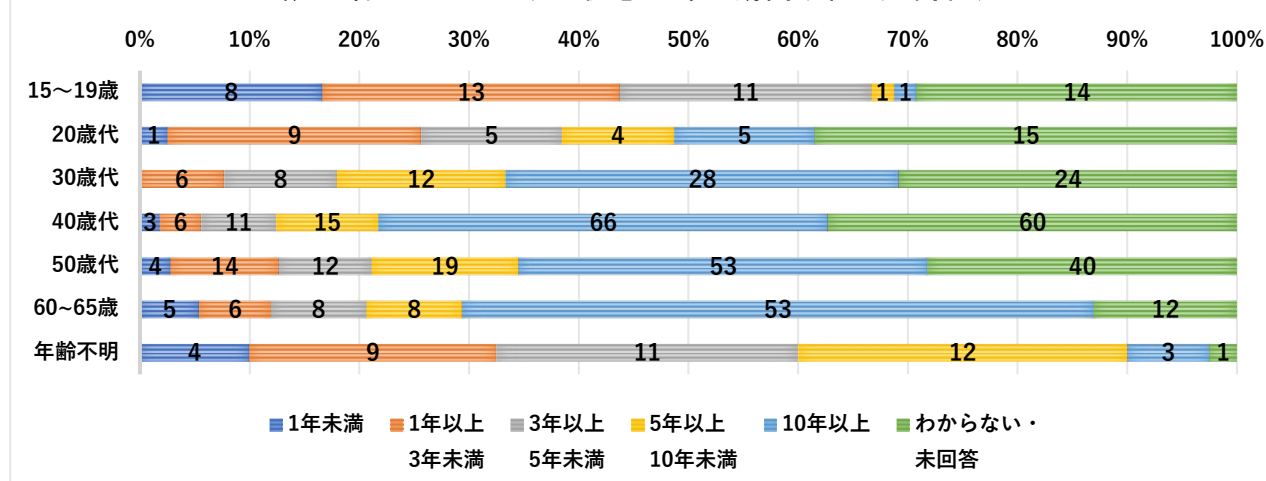


【クロス集計】年代別と期間

該当者のひきこもりの状態にある期間(年代別割合)

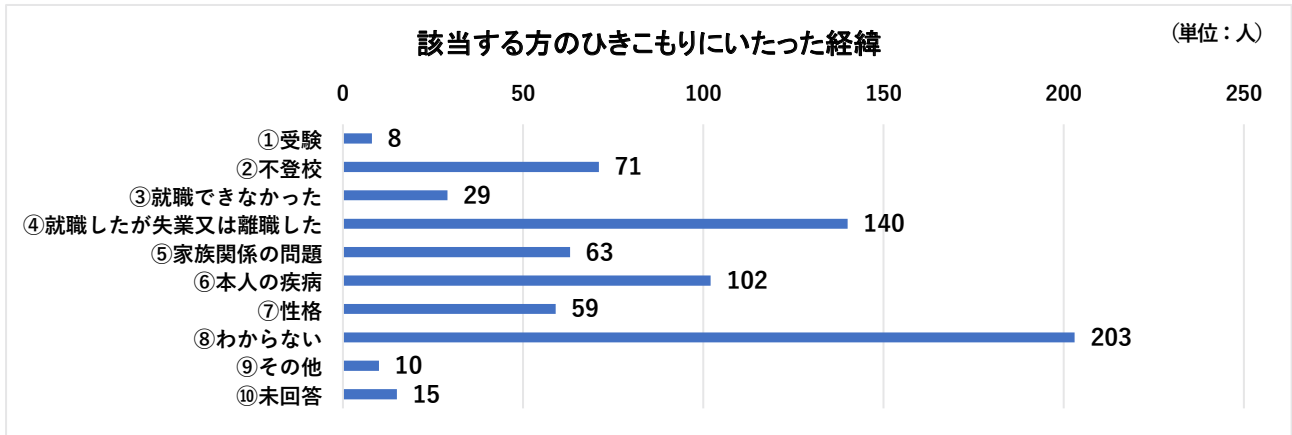
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	わからない・未回答	合計
15~19歳	8	13	11	1	1	14	48
	16.7%	27.1%	22.9%	2.1%	2.1%	29.2%	100.0%
20歳代	1	9	5	4	5	15	39
	2.6%	23.1%	12.8%	10.3%	12.8%	38.5%	100.0%
30歳代	0	6	8	12	28	24	78
	0.0%	7.7%	10.3%	15.4%	35.9%	30.8%	100.0%
40歳代	3	6	11	15	66	60	161
	1.9%	3.7%	6.8%	9.3%	41.0%	37.3%	100.0%
50歳代	4	14	12	19	53	40	142
	2.8%	9.9%	8.5%	13.4%	37.3%	28.2%	100.0%
60~65歳	5	6	8	8	53	12	92
	5.4%	6.5%	8.7%	8.7%	57.6%	13.0%	100.0%
年齢不明	4	9	11	12	3	1	40
	10.0%	22.5%	27.5%	30.0%	7.5%	2.5%	100.0%
合計	25	63	66	71	209	166	600

該当者のひきこもりの状態にある期間(年代別割合)



9 ひきこもりにいたった経緯（複数回答）

「わからない」が 203 人(33.8%)と最も多い。経緯がわかるものの中では、「就職したが失業又は離職した」が 140 人(23.3%)と最も多く、次いで、「本人の疾病」が102人(17.0%)、「不登校」71人(11.8%)の順となっている。

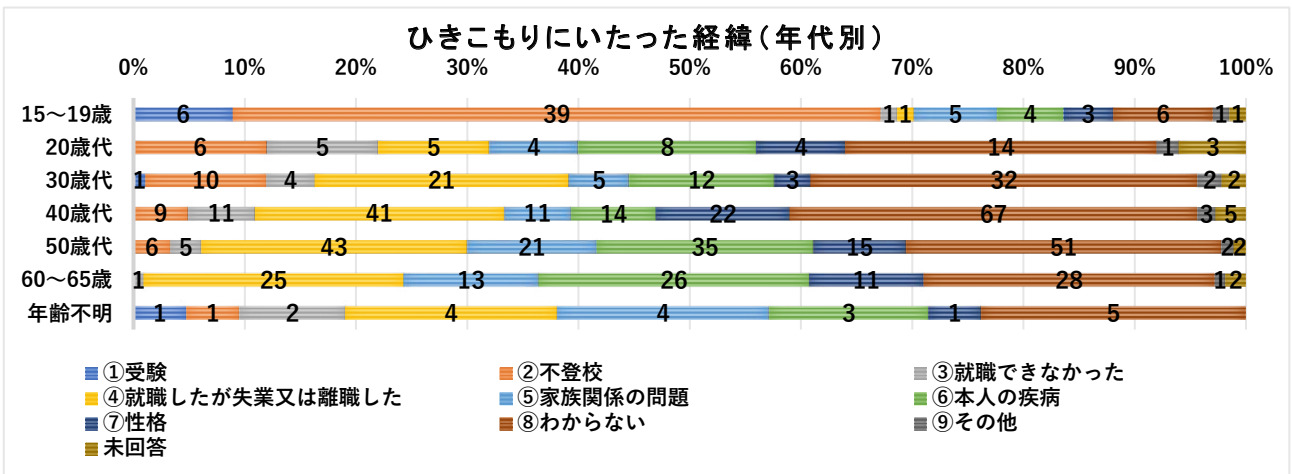


〔クロス集計〕 ①年代別と経緯

ひきこもりにいたった経緯(年代別)

	①受験	②不登校	③就職できなかった	④就職したが失業又は離職した	⑤家族関係の問題	⑥本人の疾病	⑦性格	⑧わからない	⑨その他	未回答	合計
15～19歳	6	39	1	1	5	4	3	6	1	1	67
	9.0%	58.2%	1.5%	1.5%	7.5%	6.0%	4.5%	9.0%	1.5%	1.5%	100.0%
20歳代	0	6	5	5	4	8	4	14	1	3	50
	0.0%	12.0%	10.0%	10.0%	8.0%	16.0%	8.0%	28.0%	2.0%	6.0%	100.0%
30歳代	1	10	4	21	5	12	3	32	2	2	92
	1.1%	10.9%	4.3%	22.8%	5.4%	13.0%	3.3%	34.8%	2.2%	2.2%	100.0%
40歳代	0	9	11	41	11	14	22	67	3	5	183
	0.0%	4.9%	6.0%	22.4%	6.0%	7.7%	12.0%	36.6%	1.6%	2.7%	100.0%
50歳代	0	6	5	43	21	35	15	51	2	2	180
	0.0%	3.3%	2.8%	23.9%	11.7%	19.4%	8.3%	28.3%	1.1%	1.1%	100.0%
60～65歳	0	0	1	25	13	26	11	28	1	2	107
	0.0%	0.0%	0.9%	23.4%	12.1%	24.3%	10.3%	26.2%	0.9%	1.9%	100.0%
年齢不明	1	1	2	4	4	3	1	5	0	0	21
	4.8%	4.8%	9.5%	19.0%	19.0%	14.3%	4.8%	23.8%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	8	71	29	140	63	102	59	203	10	15	700

ひきこもりにいたった経緯(年代別)



②男女別と経緯

ひきこもりにいたった経緯(男女別)	男性	女性	その他	合計
①受験	3	3	2	8
②不登校	35	25	11	71
③就職できなかった	21	3	5	29
④就職したが失業又は離職した	110	14	16	140
⑤家族関係の問題	44	14	5	63
⑥本人の疾病	64	33	5	102
⑦性格	39	16	4	59
⑧わからない	140	38	25	203
⑨その他	8	2	0	10
⑩未回答	2	3	10	15
合計	466	151	83	700

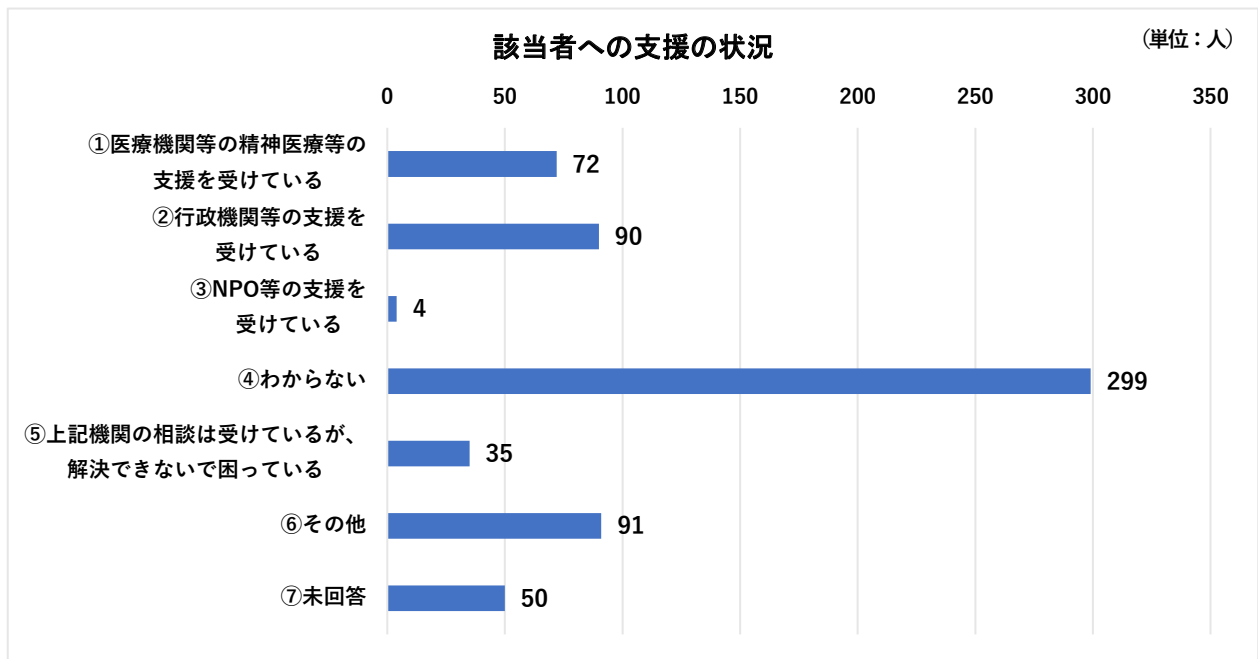
<その他の記述>

- ・ネットによるいじめ
- ・親族との死別や離婚
- ・アルコール依存症
- ・地域での人間関係のトラブル
- ・親の介護

10 該当者への支援の状況（複数回答）

「わからない」が 299 人と最も多い。支援の状況がわかっているものの中では、「行政機関等の支援を受けている」が 90 人、次に「医療機関等の精神医療等の支援を受けている」が 72 人となっている。

①医療機関等の精神医療等の支援を受けている	72	⑤上記機関の相談は受けているが、解決できていないで困っている	35
②行政機関等の支援を受けている	90	⑥その他	91
③NPO 等の支援を受けている	4	⑦未回答	50
④わからない	299		

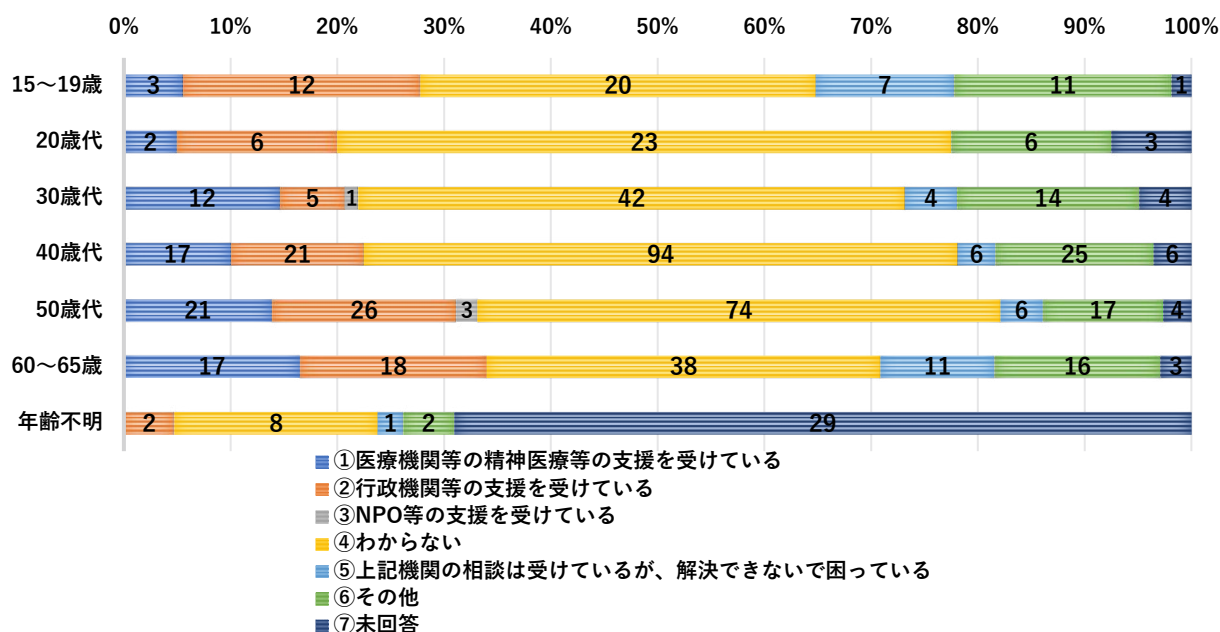


【クロス集計】①年代別と支援の状況

該当者への支援の状況(年代別)

	①医療機関等の精神医療等の支援を受けている	②行政機関等の支援を受けている	③NPO 等の支援を受けている	④わからない	⑤上記機関の相談は受けているが、解決できないで困っている	⑥その他	⑦未回答	合計
15～19 歳	3	12	0	20	7	11	1	54
20 歳代	2	6	0	23	0	6	3	40
30 歳代	12	5	1	42	4	14	4	82
40 歳代	17	21	0	94	6	25	6	169
50 歳代	21	26	3	74	6	17	4	151
60～65 歳	17	18	0	38	11	16	3	103
年齢不明	0	2	0	8	1	2	29	42
合計	72	90	4	299	35	91	50	641

該当者への支援の状況(年代別)



②男女別と支援の状況

該当者への支援の状況(男女別)	男性	女性	その他	合計
①医療機関等の精神医療等の支援を受けている	44	21	7	72
②行政機関等の支援を受けている	61	19	10	90
③NPO等の支援を受けている	4	0	0	4
④わからない	212	54	33	299
⑤上記機関の相談は受けているが、解決できないで困っている	24	9	2	35
⑥その他	65	17	9	91
⑦未回答	13	8	29	50
合計	423	128	90	641

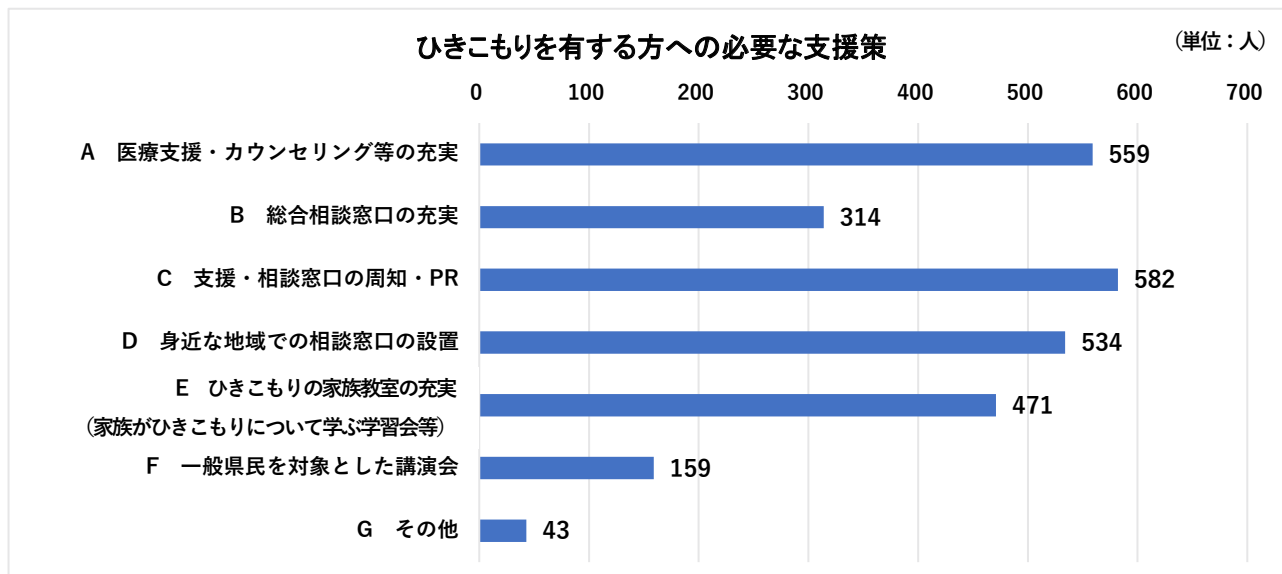
<その他の記述>

- ・かかわらないでほしいと言っている。
- ・この状況に困っているが、他人に知られたくない、そっとしてほしい、隠しがたがっている。
- ・相談を受け付けない。
- ・相談に行ったが本人が病院等に行かない。親のみ相談したが自分はどこも悪くないと言っている。
- ・相談や支援を受けないで孤立。ゲームにのめり込んで不登校。高校にも行かなかった。
- ・現在包括支援センターには状況を話しているだけにとどまっている
- ・訪問の際、相談できる所を紹介してあげたが、母親がそのような所に行かなくてもいい。自宅で出来ることもしているし、今の所は良いですと言われた。

11 ひきこもりを有する方への必要な支援策（複数回答）

「支援・相談窓口の周知・PR」が 582 人(42.5%)と最も多く、次に、「医療支援・カウンセリング等の充実」が 559 人(40.8%)、「身近な地域での相談窓口の設置」が 534 人(39.0%)となっている。

A 医療支援・カウンセリング等の充実	559	E ひきこもりの家族教室の充実 (家族がひきこもりについて学ぶ学習会等)	471
B 総合相談窓口の充実	314	F 一般県民を対象とした講演会	159
C 支援・相談窓口の周知・PR	582	G その他	43
D 身近な地域での相談窓口の設置	534		



<その他の記述>

- ・学校での相談窓口の充実(担任の先生の負担にならない様、スクールカウンセリング等、相談窓口の常時設置。平日以外での設置があると働いている方は助かると思います。)
- ・親しい友、何でも話・相談出来る相手を作る場(趣味集団会)
- ・不登校生に、規制がなく、自分の好きなことをして過せる場所の提供
- ・うつ病、ひきこもりから立ち直った方、その家族の経験に基づいた支援、相談

※支援策が必要だと思われた理由

- ・ひきこもり、登校拒否等、本人だけでなく家族もどうしていいかわからず、つらい思いをします。相談窓口がもっと身近になったらいいと思います。
- ・ひきこもりがダメなことの様に、世間・社会に認識されていることが問題なのであって、ひきこもることで、年数はかかったとしても答えが見つかることもある。世間、社会、家族にとって、もっとひきこもることについて、理解を進めてほしい。
- ・難しいですね。家族の方が本人がなぜひきこもりになったのかを知り、医療支援・カウンセリング等の充実でしょうか？本人が受けてくれるかが難しいですね。
- ・ひきこもりに対して、まず家族がどうしたら道が拓けるのかを学ぶことや PR などが必要と思います。隣近所や組対応では解決の糸口が見つからないので、支援・相談窓口が必要になると思います。

12 ひきこもりに関する対応について、困っていること（自由記述）

- ・当事者からの相談がなければこちらの方からその事についての声はかけにくい。
- ・専門的な研修を受けていない。
- ・家族等から相談があれば、行動を起こし易いが、民生委員から直接話を聞きづらい。
- ・声かけしても外に出てこないの、窓越しに話をして、元気な声を聞いて判断するしかない。
- ・親の支援活動で訪問しても、子供のひきこもりには触れるのが難しい。
- ・個人情報観点から、他人に知られたくない、秘密主義の家族が多く、情報の入手が困難。他人に迷惑を掛けている訳でもないという思いからと推測される。
- ・不登校児童・生徒の場合、学校が情報交換の場を設定してほしい。不登校生徒宅を訪問しても、出て来られず対応してもらえない。
- ・家族は「ひきこもり」ということばに敏感に反応し、そうではないという認識だ。「ひきこもり」の言葉を使わずに、職業支援や、就業を前提としたパソコン教室などの講義や研修等の形で案内できればと思う。
- ・比較的若い中学生のひきこもりは、今後の人生を大きく左右することになる。今の社会は高校卒業を求めているので、定時制高校等の充実を希望する。
- ・ひきこもり本人や家族に医療支援、カウンセリング等がある事をどう伝えるかが課題。

13 ひきこもり等の状態にある方がいるご家庭で困っていると思われること（自由記述）

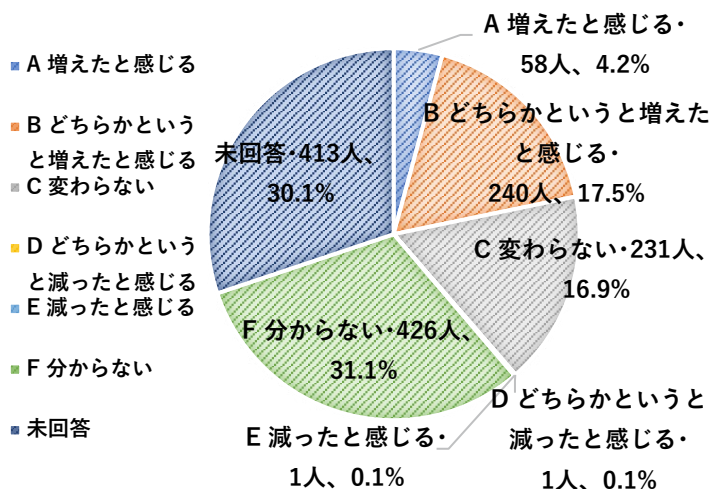
- ・だれに相談、どこに相談すれば良いかわからない家庭があると思う。家族は大変だと思うが、第三者に相談するという勇気を出してほしい。
- ・ひきこもっている状態の人に対する接し方
- ・親がいるうちは何とかなるが、その後のことを心配されている。
- ・該当者の家庭環境で困っている。身内周囲に相談相手が誰もいない。
- ・金銭的問題、健康上の問題
- ・家族も助けてと言えない。
- ・地域住民とのコミュニケーション不足。疎外感に悩まされていると思う。
- ・ひきこもる本人とひきこもりのいる家族の気持ちが真逆なので、お互いの理解が進まない。
- ・いろいろな機関で相談しても、いい解決方法が見出せない。

14 コロナ禍の影響（ひきこもりの数）

「増えたと感じる」「どちらかというが増えたと感じる」が 298 人(21.7%)、「変わらない」が 231 人(16.9%)となっている。

A 増えたと感じる	58
B どちらかというが増えたと感じる	240
C 変わらない	231
D どちらかというが減ったと感じる	1
E 減ったと感じる	1
F 分からない	426
未回答	413

コロナ禍の影響（ひきこもりの数）



15 コロナ禍の影響（地域の状況の把握）

回答があったものとみると、「家族からの相談」、「近隣の人からの情報」については「変わらない」が高い割合を占めているが、「家庭訪問の回数」については「変わらない」と「減った」がほぼ同じ割合を占めている。

A 家族からの相談

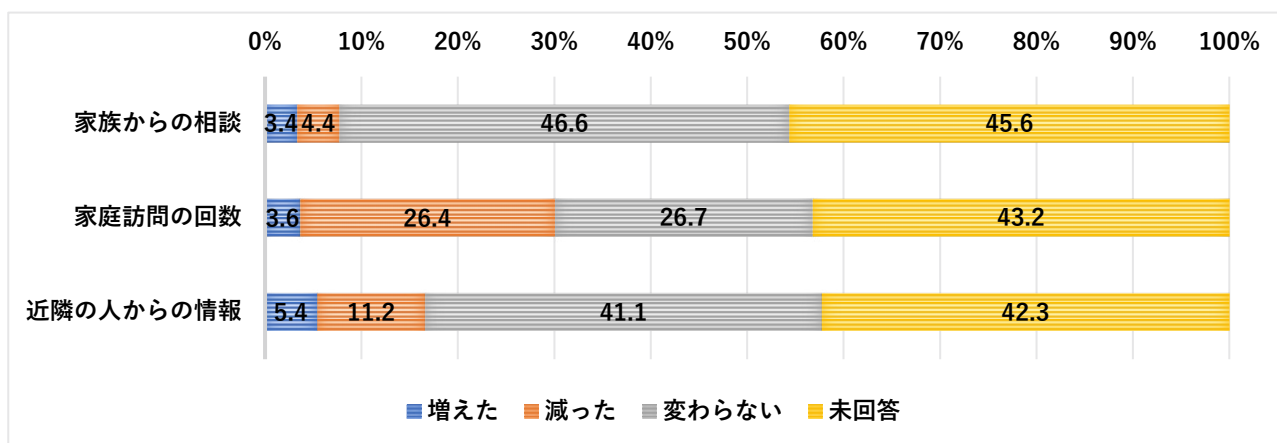
①増えた	46
②減った	60
③変わらない	639
④未回答	625

B 家庭訪問の回数

①増えた	50
②減った	362
③変わらない	366
④未回答	592

C 近隣の人からの情報

①増えた	74
②減った	154
③変わらない	563
④未回答	579



<その他の記述>

- ・各家庭への訪問がしづらくなった。
- ・外出の自粛要請の為、訪問も TEL 対応になる事があった。
- ・会話をする機会は少ないが話の時間は長くなった。

16 自由記述 等

<ひきこもりの把握について>

- ・ひきこもりの状態にあると思われる方の把握がむずかしいです。家族の方も話したがらない傾向にあり、そうなのかもしれないと思っても聞きにくいのが現状です。
- ・顔が見えないというだけで、ひきこもりと判断するには難しい。
- ・地方でも近隣との関わりが疎遠になっていて、民生児童委員といえども状況把握は困難となっている。

<ひきこもりへの理解>

- ・ひきこもりの家族がいる事を、家族の方が発信しやすい環境にしないと、まわりの者は全くわからない事が多いと思う。

<支援方法について>

- ・親の見栄や世間体が大きく影響している様に思う。子どものありのままを受入れて応援してあげると頑張れると思います。
- ・ひきこもりの人をどうにかしてあげたいという気持ちはあるが、周りの人たちが思っても本人や家族が心を開いてくれない事にはどうしようもないのではないかと思います。
- ・訪問しながら少しでも、お母さんが相談できる所へ行ってもらえるように進めてあげたい。今後は両親も年齢がいつていまずので、子どもだけになった時の事を考えてもらいたいです。
- ・「ひきこもり」じゃなくて、もう少しやわからかに温かみのある事柄もくっつけた家族的な講演会とか何か行ってみたいくなるようなイベント、家族で行ってみたいくなるようなきっかけづくりを年数回開催というような事もいいんじゃないかと思う。
- ・ひきこもりの状況にある場合には、例えば①失業中である②心理的な病を患っている③性格(生まれつき)による等、原因・要因があるものであり、まずは、それらの解決が必須であろうと考えます。

<行政への意見>

- ・公民館長、班長等の話し合いがある際にひきこもりの事を講演してほしい。
- ・知らないだけで、受け持ち地域にもひきこもりの方はいると思います。情報の1本化を望みます。ひきこもりばかりじゃなく、地区で名簿、市で名簿、県で名簿、書く書類が多すぎてご本人も、回る私たちも負担です。似たり寄ったりの書類なら、このご時世、もっともっと簡略化を切に願います。
- ・自分の息子、娘がひきこもっていると相談する事はなかなか勇気のいる事で、他人には知られたくないと思います。そのところを「解決できる」様な施策をお願いしたいと思います。
- ・宮崎は心理療法士等の資格を持っているのに、それを活かさせられない人がたくさんいます。公的なカウンセリングルーム等をもっと増やすべきだと思います。自殺者数も多いのはメンタル部分の軽視が行政にあるからだと思われるのですが。

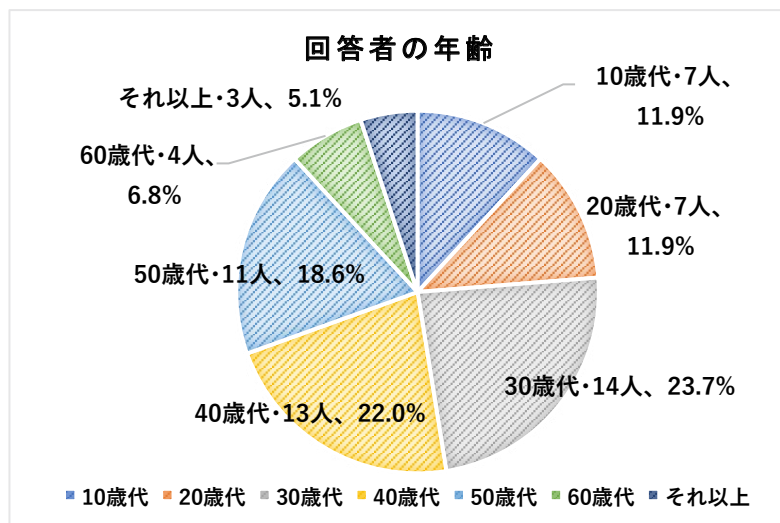
第2章 調査結果

ひきこもりの当事者や家族等を対象とした支援ニーズ調査
(当事者又は経験者)

ひきこもりの当事者や家族等を対象とした支援ニーズ調査結果(当事者又は経験者)

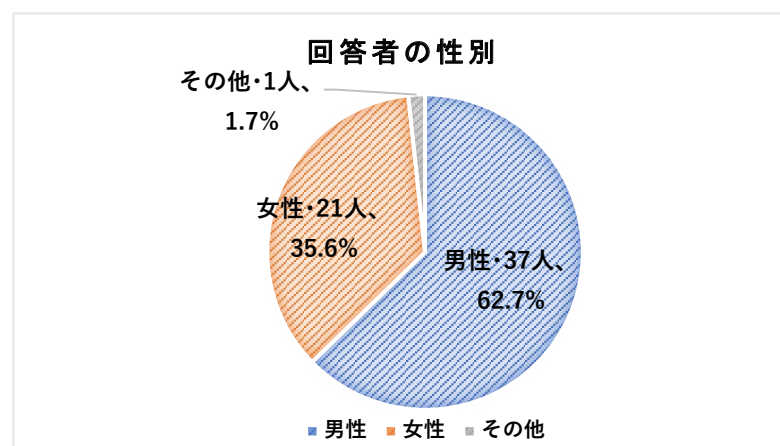
1 回答者数

回答者の総数は、59人で、30歳代から50歳代が多く38人(64.4%)となっている。



2 該当者の性別

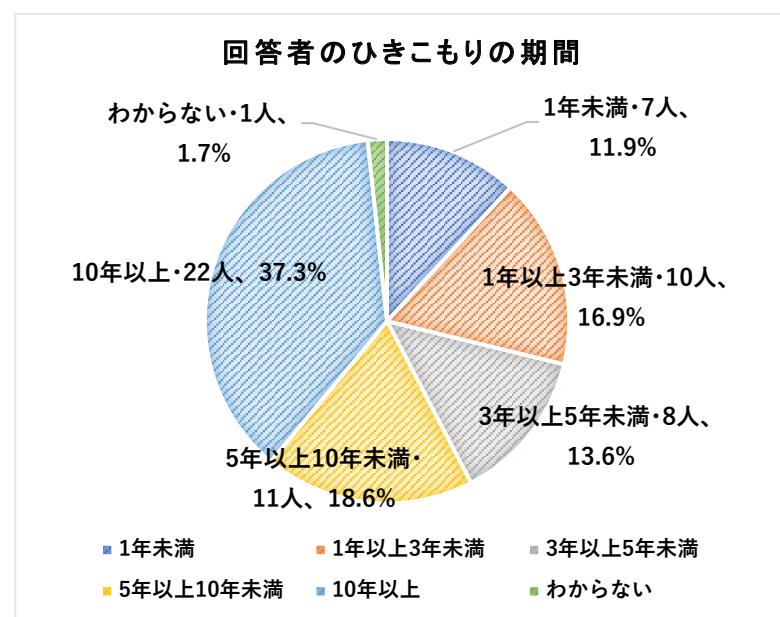
該当者の性別は、男性が37人(62.7%)、女性が21人(35.6%)となっており、割合として男性が女性の約2倍弱となっている。



3 ひきこもり期間

10年以上が37.3%と突出し、5年以上10年未満を含めると55%を超えている。

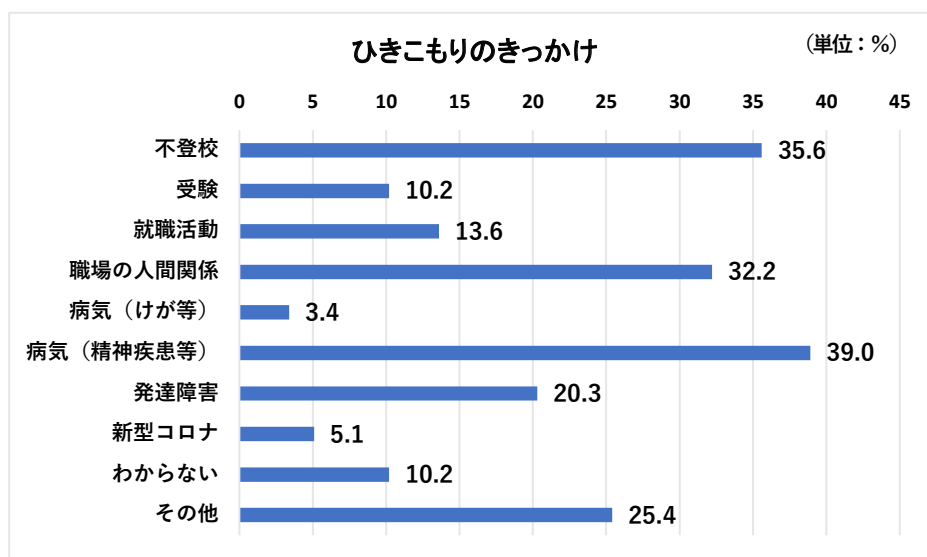
1年未満	7
1年以上3年未満	10
3年以上5年未満	8
5年以上10年未満	11
10年以上	22
わからない	1
総数	59



4 ひきこもりのきっかけ（複数回答）

「病気(精神疾患等)」が23人(39.0%)と最も多く、次いで「不登校」が21人(35.6%)、「職場の人間関係」19人(32.2%)の順となっている。

不登校	21
受験	6
就職活動	8
職場の人間関係	19
病気(けが等)	2
病気(精神疾患等)	23
発達障害	12
新型コロナ	3
わからない	6
その他	15

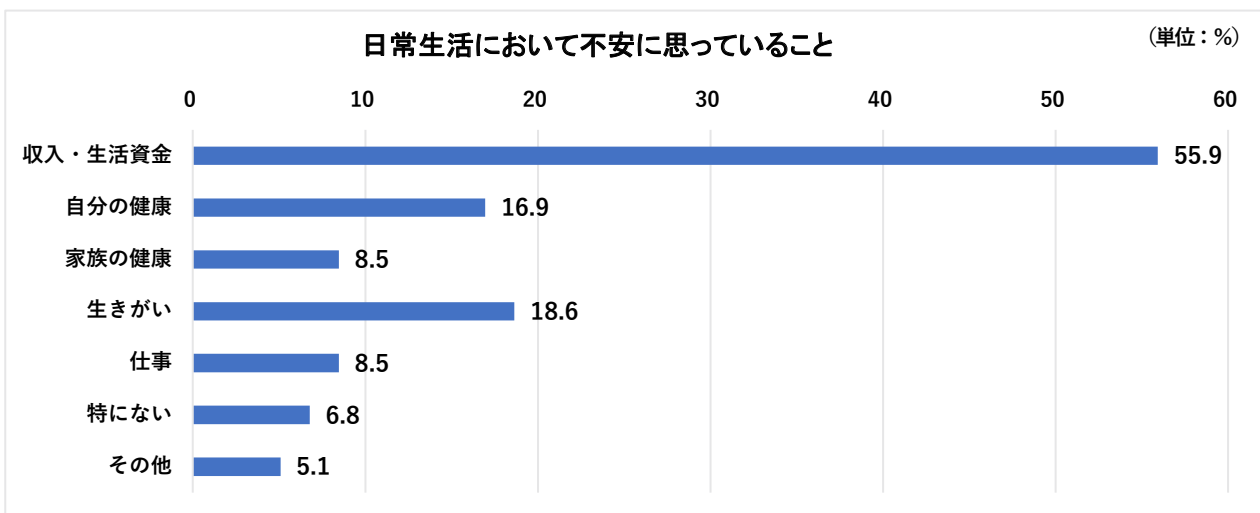


5 日常生活において不安に思っていること（複数回答）

「収入・生活費」が33人(55.9%)と約半数をしめ、生活資金への不安が一番大きい。

収入・生活資金	33
自分の健康	10
家族の健康	5
生きがい	11

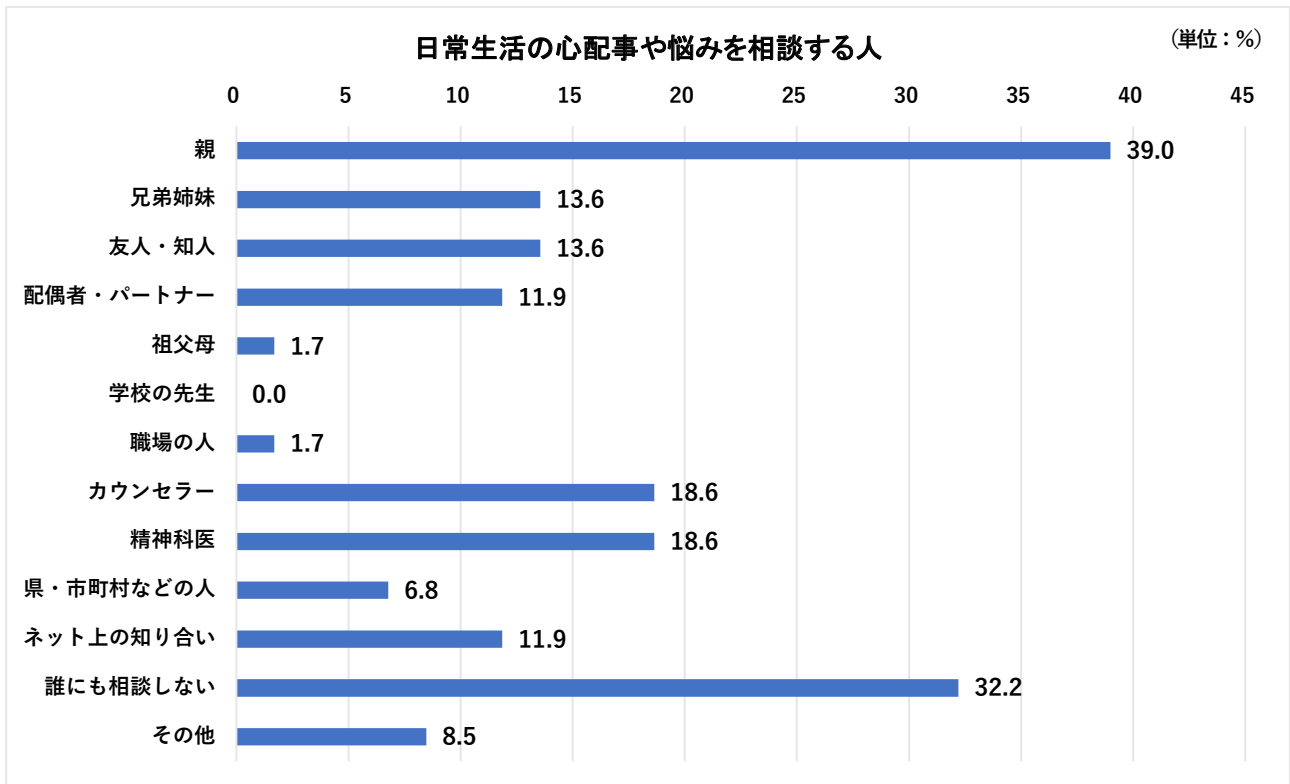
仕事	5
特にない	4
その他	3
総数	71



6 日常生活の心配事や悩みを相談する人（複数回答）

「親への相談」が23人(39.0%)で最も多く、次いで「誰にも相談しない」が19人(32.2%)となっている。

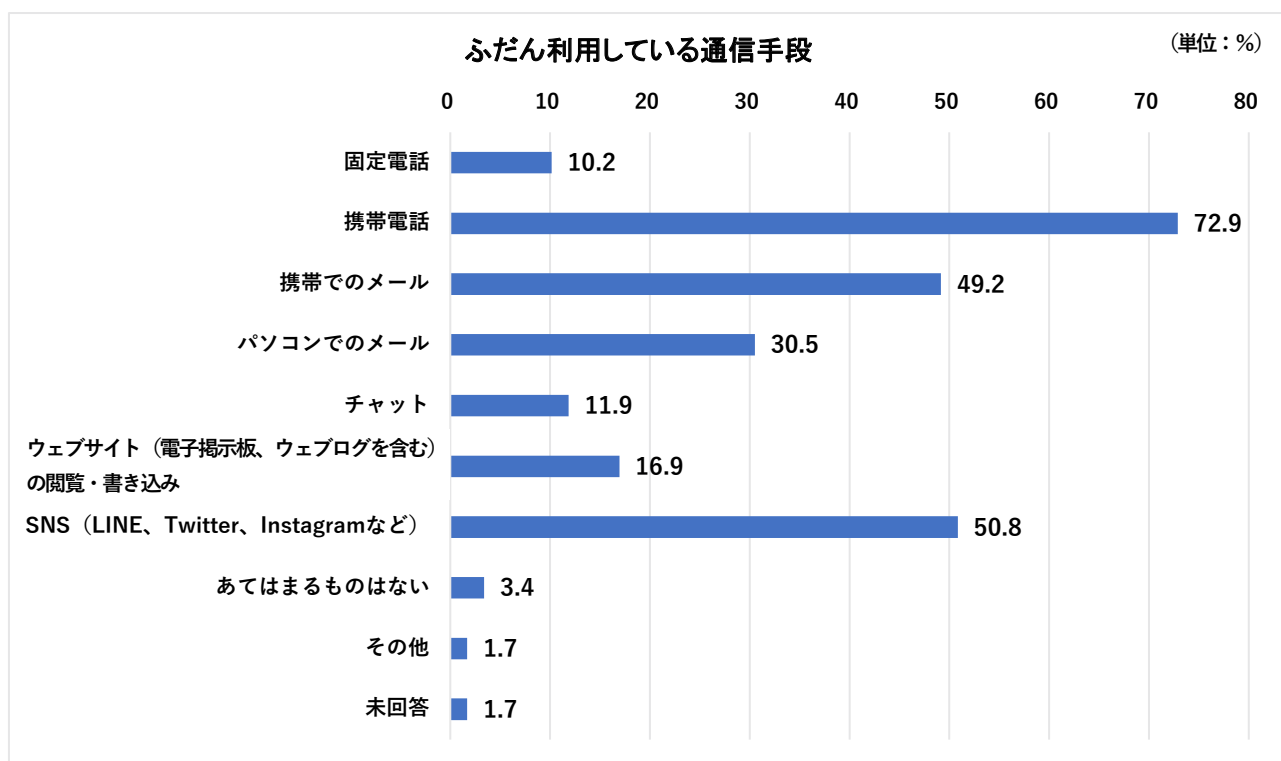
親	23	学校の先生	0	ネット上の知り合い	7
兄弟姉妹	8	職場の人	1	誰にも相談しない	19
友人・知人	8	カウンセラー	11	その他	5
配偶者・パートナー	7	精神科医	11		
祖父母	1	県・市町村などの人	4		



7 ふだん利用している通信手段（複数回答）

「携帯電話」が43人(72.9%)で最も多く、次に「SNS」が30人(50.8%)となっている。

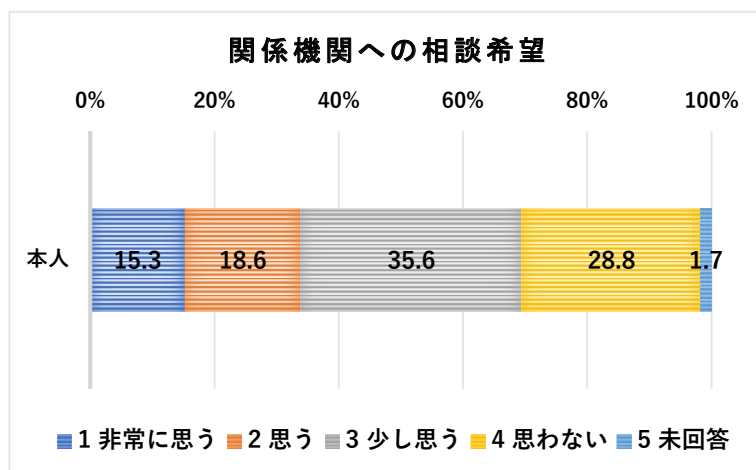
固定電話	6	ウェブサイト(電子掲示板、ウェブログを含む)の閲覧・書き込み	10
携帯電話	43	SNS(LINE、Twitter、Instagramなど)	30
携帯でのメール	29	あてはまるものはない	2
パソコンでのメール	18	その他	1
チャット	7	未回答	1



8 関係機関への相談希望

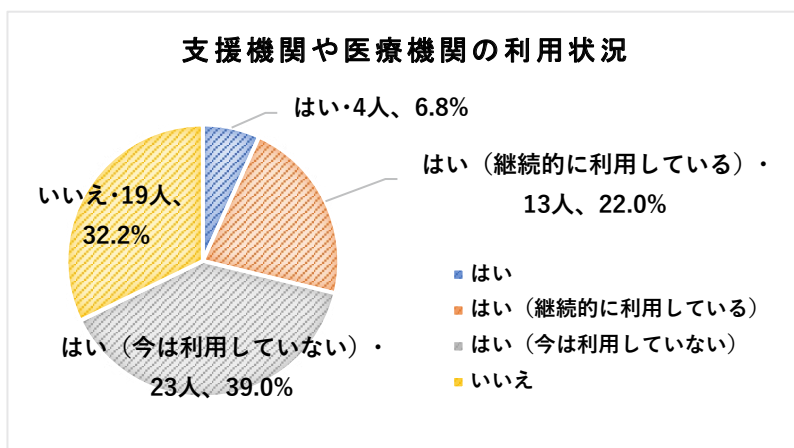
相談希望のある方は、「非常に思う」「思う」「少し思う」を合計すると41人(69.5%)となっている。

非常に思う	9
思う	11
少し思う	21
思わない	17
未回答	1
総数	59



9 支援機関や医療機関の利用状況

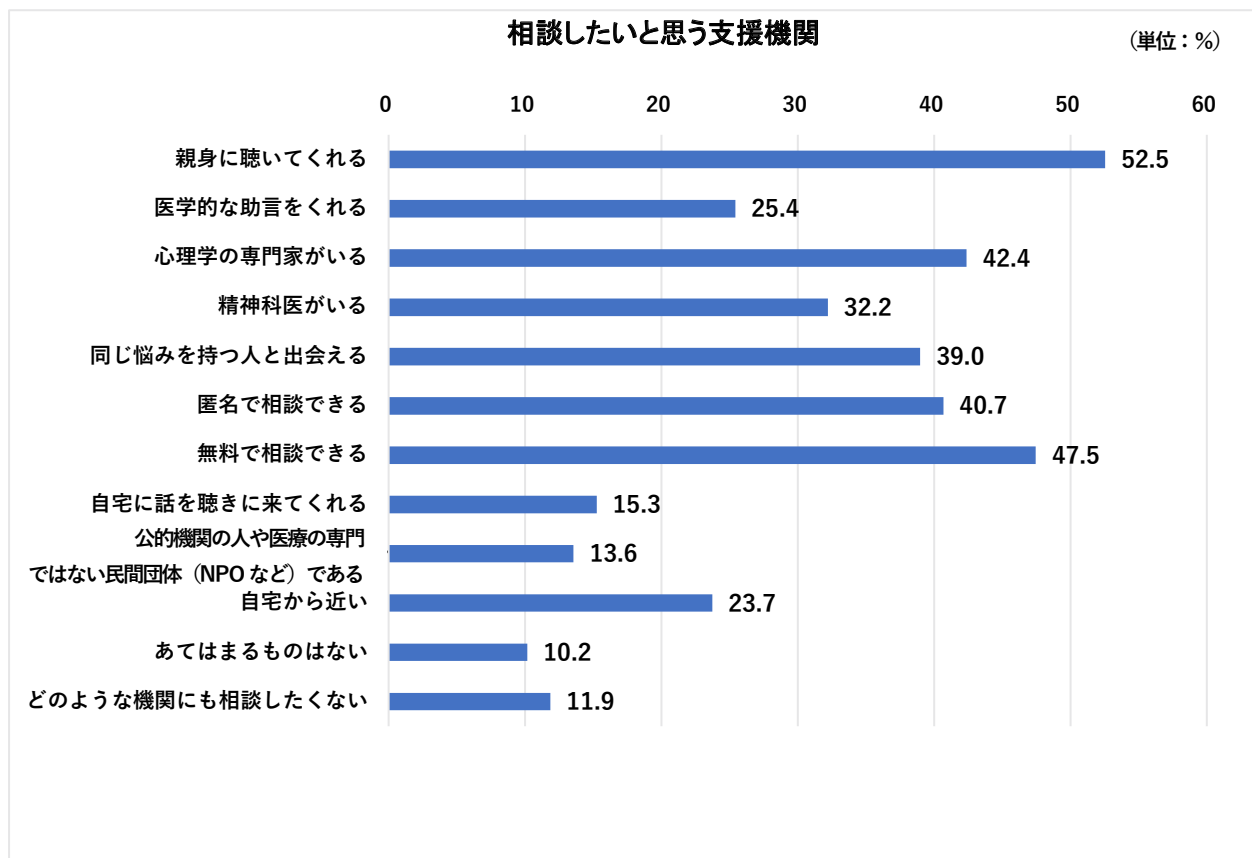
支援機関や医療機関を利用したことがある人は40人(67.8%)となっている。



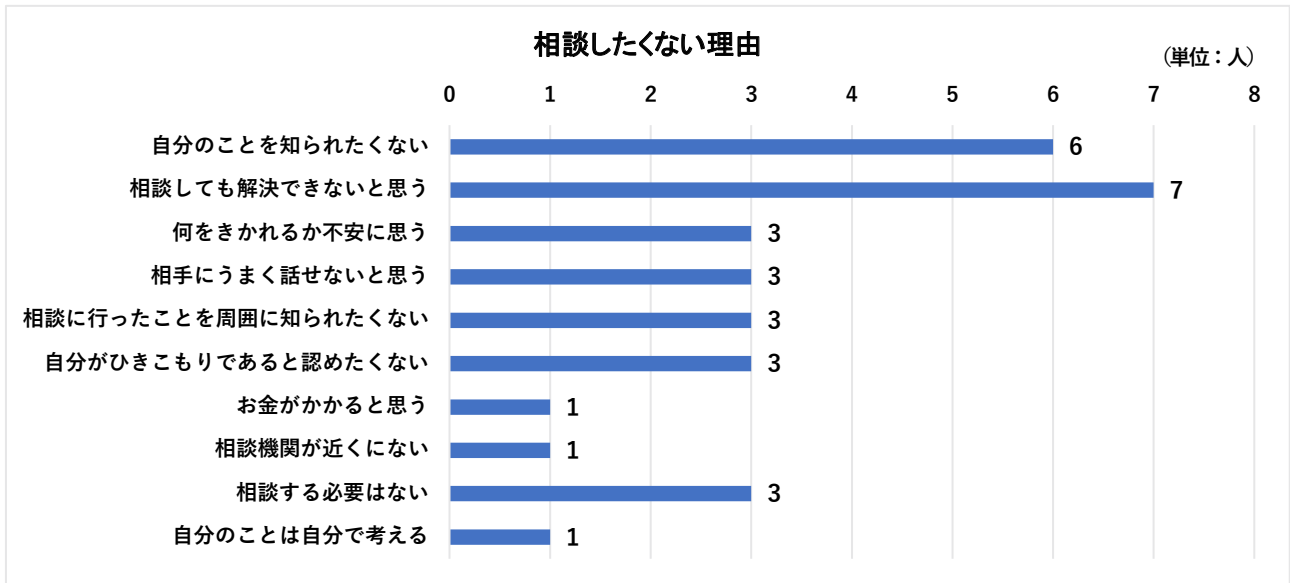
10 相談したいと思う支援機関(複数回答)

「親身に聴いてくれる」が31人(52.5%)と最も多く、次いで「無料で相談できる」が28人(47.5%)となっている。

親身に聴いてくれる	31	自宅に話を聴きに来てくれる	9
医学的な助言をくれる	15	公的機関の人や医療の専門ではない民間団体(NPOなど)である	8
心理学の専門家がいる	25	自宅から近い	14
精神科医がいる	19	あてはまるものはない	6
同じ悩みを持つ人と出会える	23	どのような機関にも相談したくない	7
匿名で相談できる	24		
無料で相談できる	28		

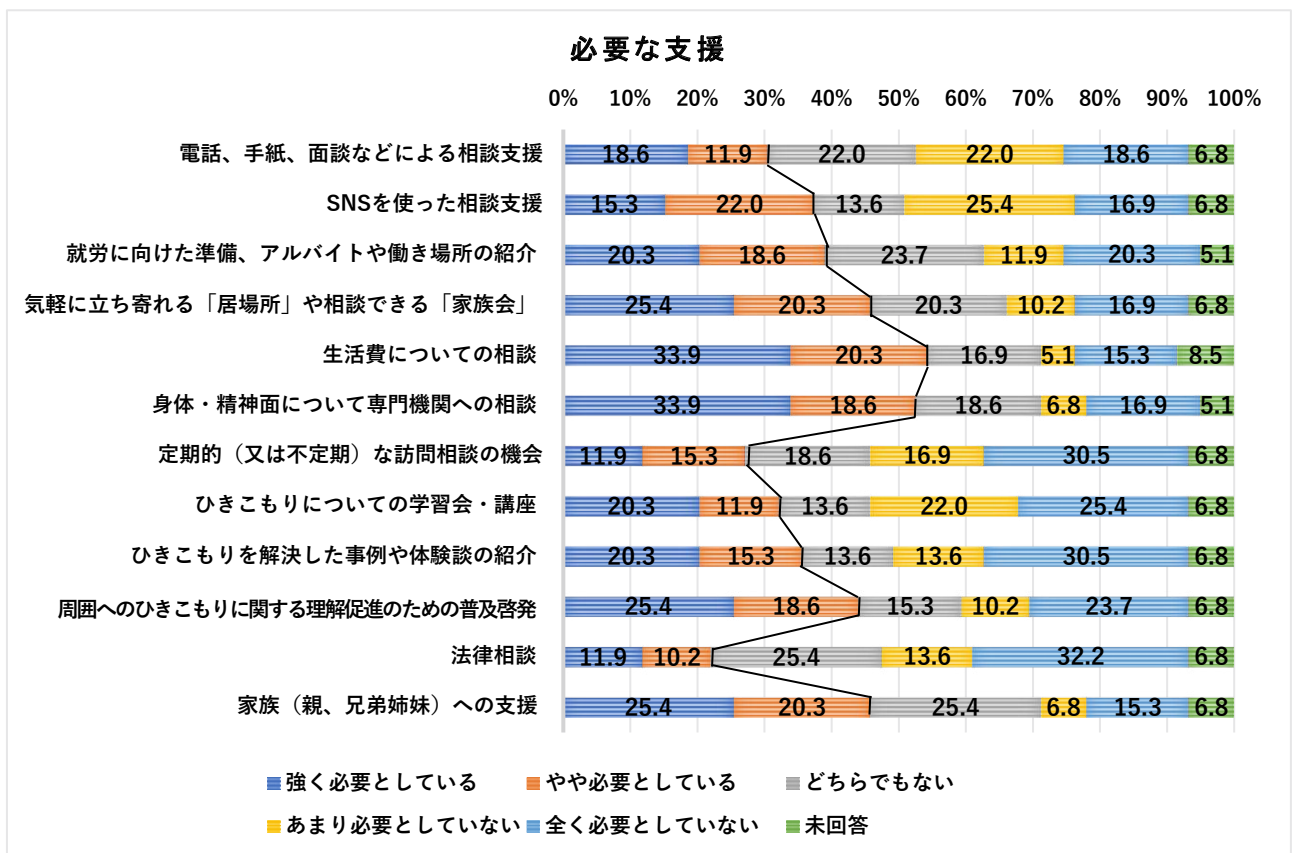


11 10においてどのような機関にも相談したくないと思う理由（複数回答）



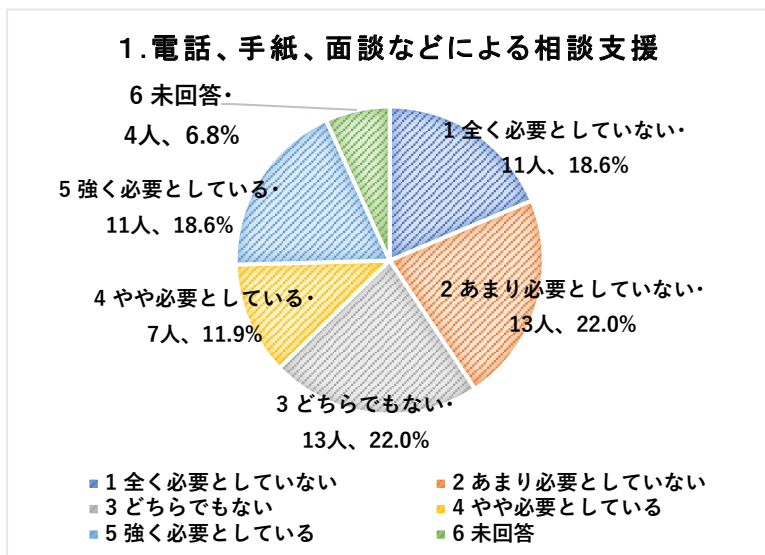
12 必要な支援

「強く必要としている」「やや必要としている」を合わせると、「生活費についての相談」が54.2%と最も高く、次いで「身体・精神面について専門機関への相談」52.5%となっている。



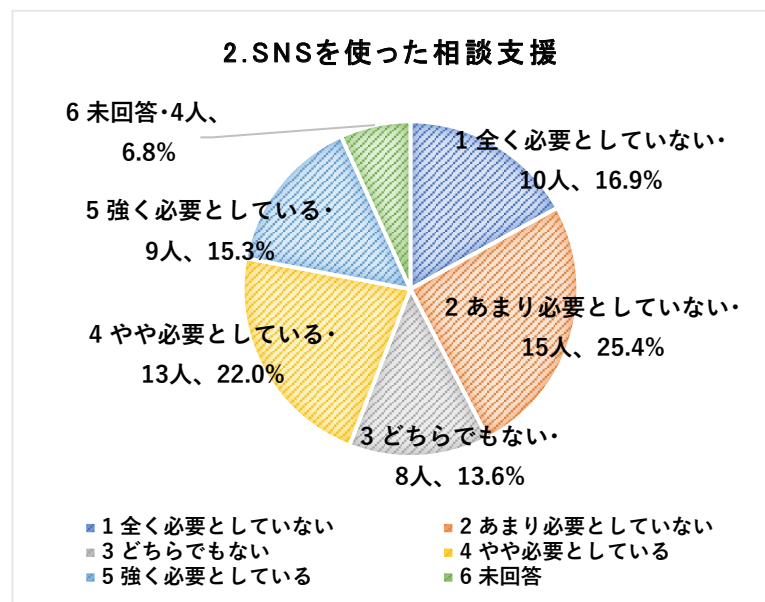
(1) 電話、手紙、面談などによる相談支援

1 全く必要としていない	11
2 あまり必要としていない	13
3 どちらでもない	13
4 やや必要としている	7
5 強く必要としている	11
6 未回答	4
総数	59



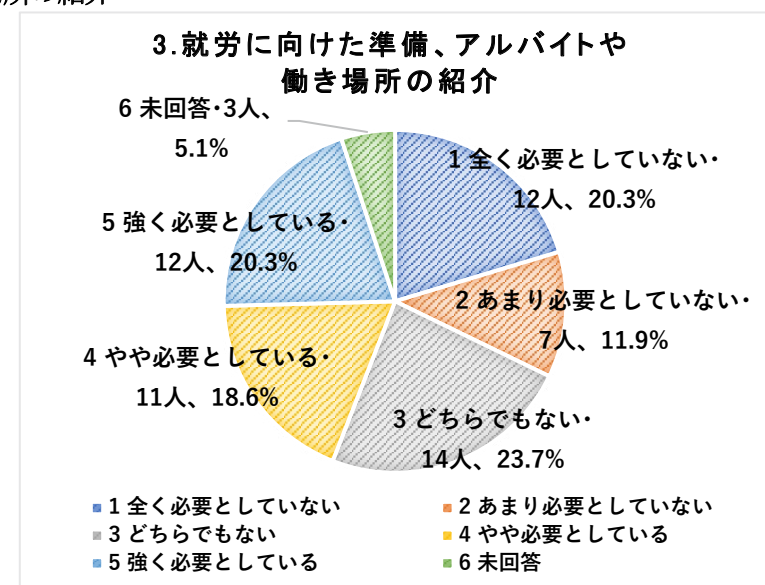
(2) SNSを使った相談支援

1 全く必要としていない	10
2 あまり必要としていない	15
3 どちらでもない	8
4 やや必要としている	13
5 強く必要としている	9
6 未回答	4
総数	59



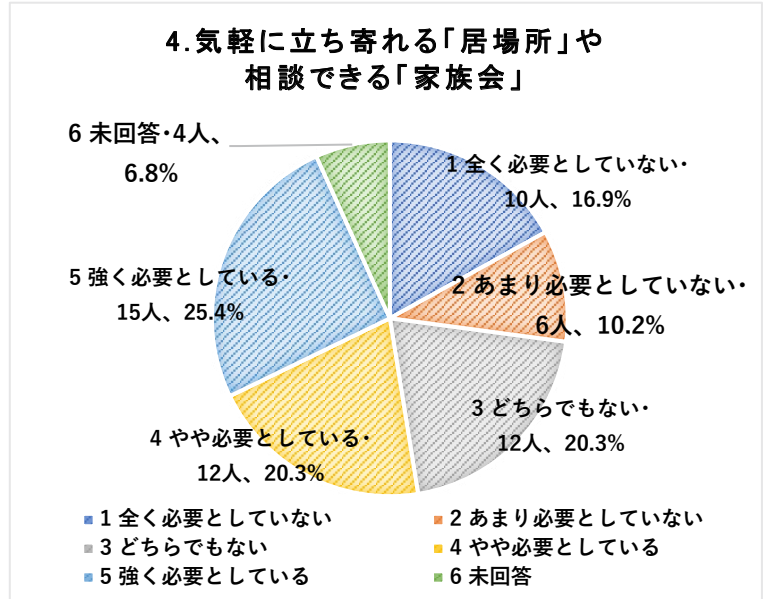
(3) 就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介

1 全く必要としていない	12
2 あまり必要としていない	7
3 どちらでもない	14
4 やや必要としている	11
5 強く必要としている	12
6 未回答	3
総数	59



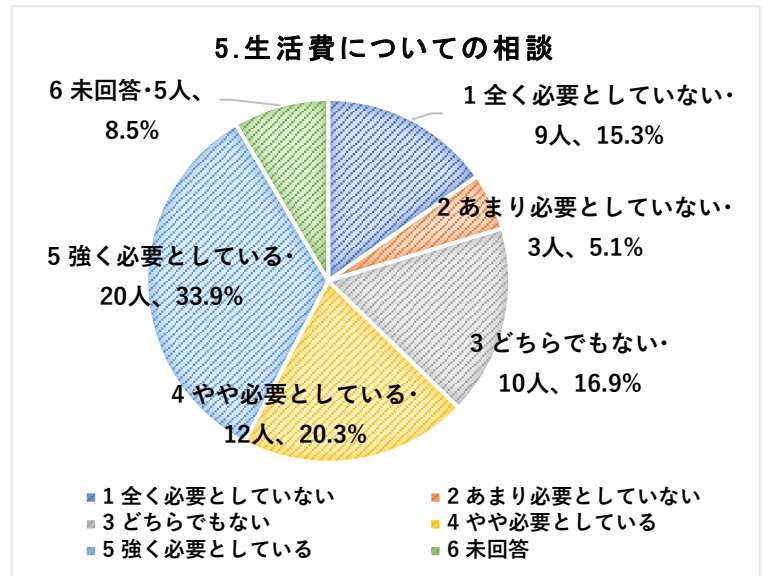
(4) 気軽に立ち寄れる「居場所」や相談できる「家族会」

1 全く必要としていない	10
2 あまり必要としていない	6
3 どちらでもない	12
4 やや必要としている	12
5 強く必要としている	15
6 未回答	4
総数	59



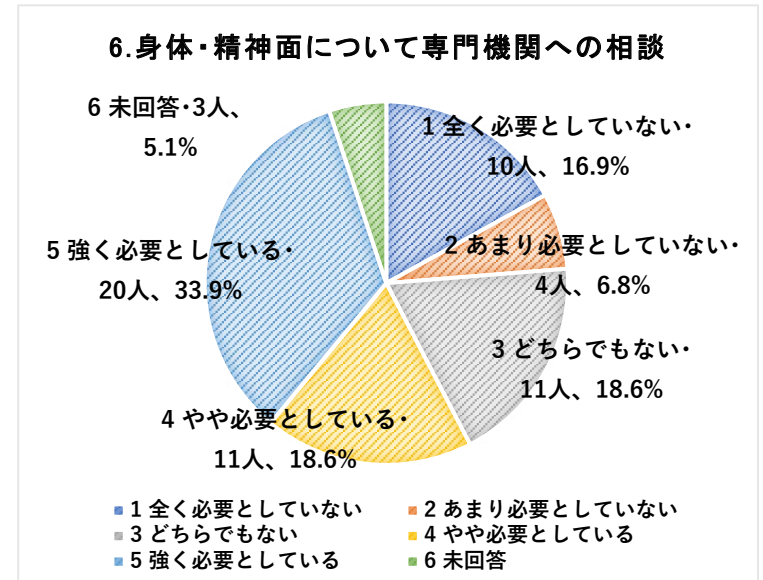
(5) 生活費についての相談

1 全く必要としていない	9
2 あまり必要としていない	3
3 どちらでもない	10
4 やや必要としている	12
5 強く必要としている	20
6 未回答	5
総数	59



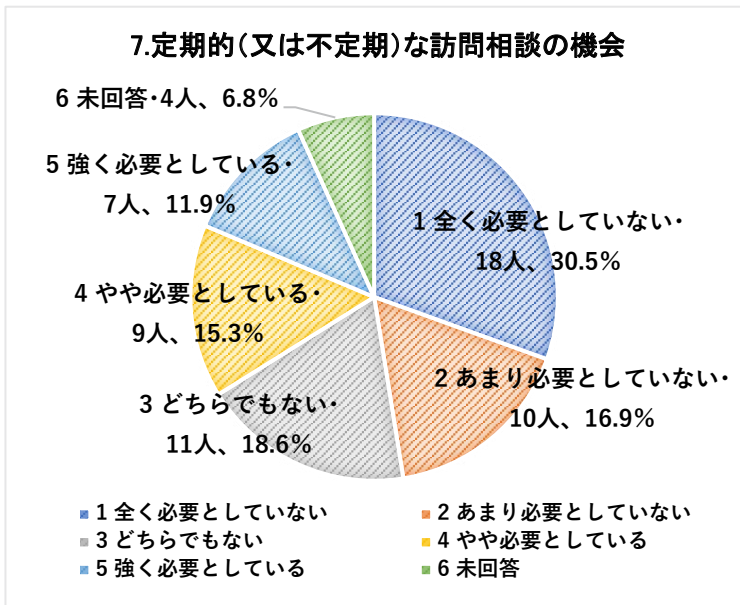
(6) 身体・精神面について専門機関への相談

1 全く必要としていない	10
2 あまり必要としていない	4
3 どちらでもない	11
4 やや必要としている	11
5 強く必要としている	20
6 未回答	3
総数	59



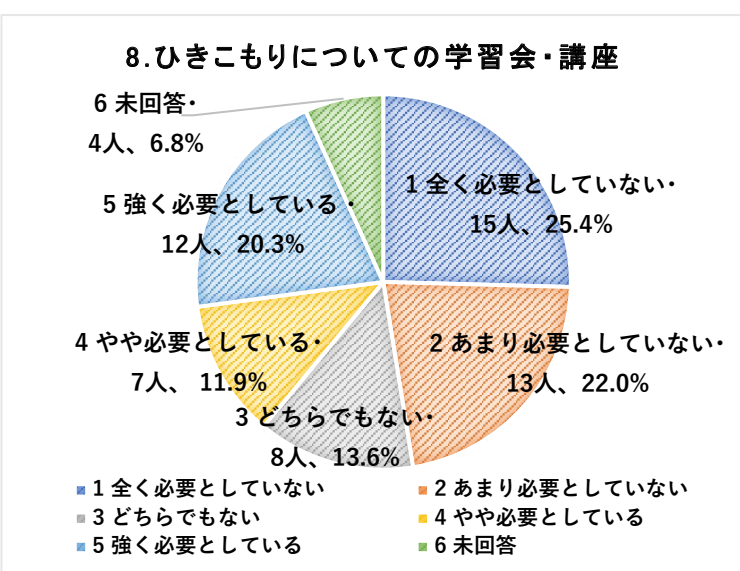
(7) 定期的(又は不定期)な訪問相談の機会

1 全く必要としていない	18
2 あまり必要としていない	10
3 どちらでもない	11
4 やや必要としている	9
5 強く必要としている	7
6 未回答	4
総数	59



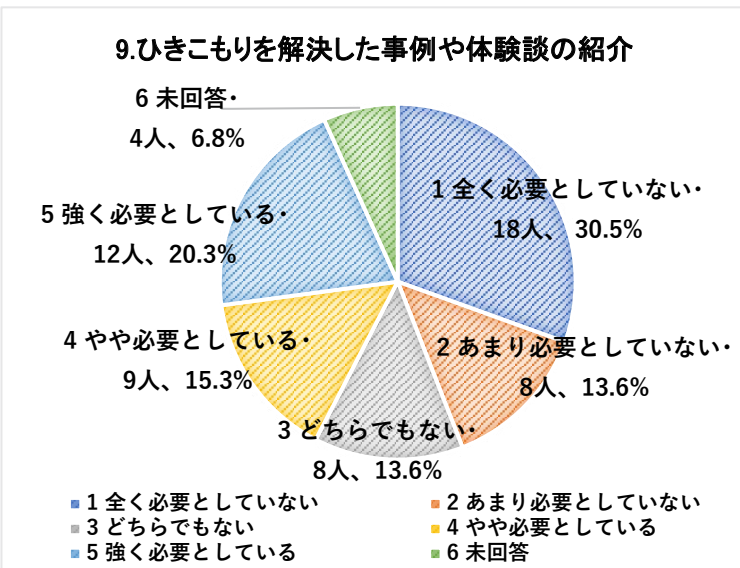
(8) ひきこもりについての学習会・講座

1 全く必要としていない	15
2 あまり必要としていない	13
3 どちらでもない	8
4 やや必要としている	7
5 強く必要としている	12
6 未回答	4
総数	59



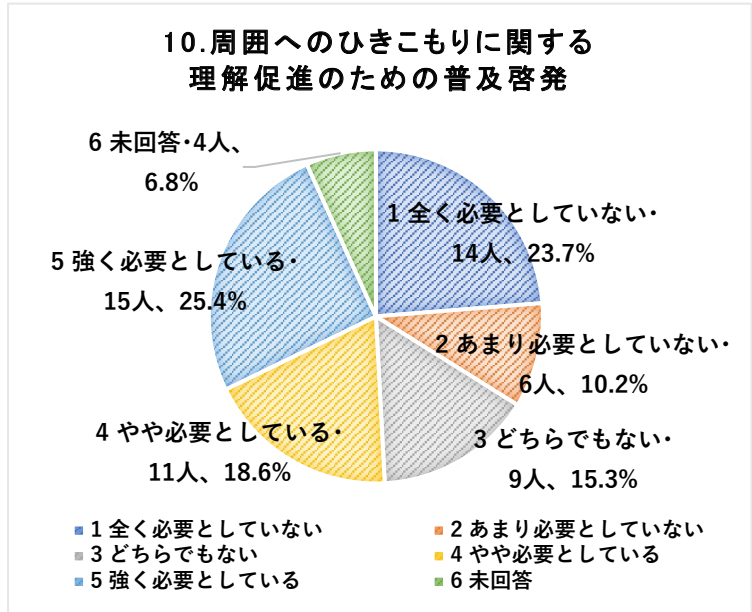
(9) ひきこもりを解決した事例や体験談の紹介

1 全く必要としていない	18
2 あまり必要としていない	8
3 どちらでもない	8
4 やや必要としている	9
5 強く必要としている	12
6 未回答	4
総数	59



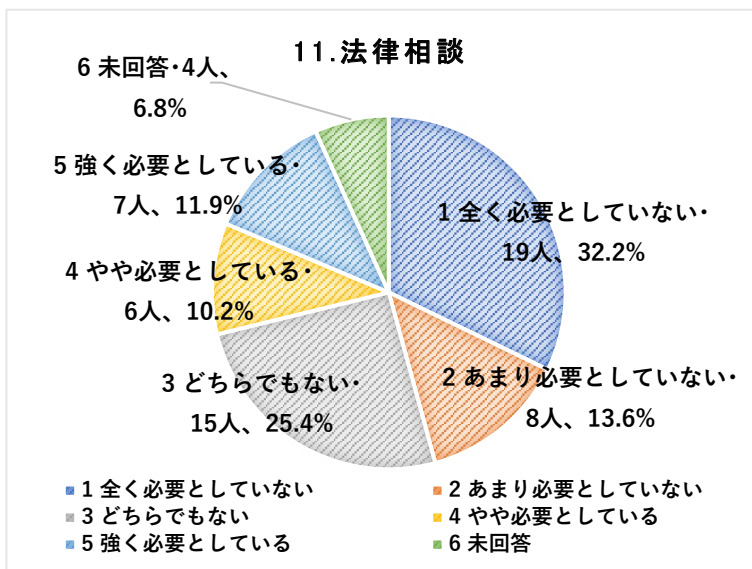
(10) 周囲へのひきこもりに関する理解促進のための普及啓発

1 全く必要としていない	14
2 あまり必要としていない	6
3 どちらでもない	9
4 やや必要としている	11
5 強く必要としている	15
6 未回答	4
総数	59



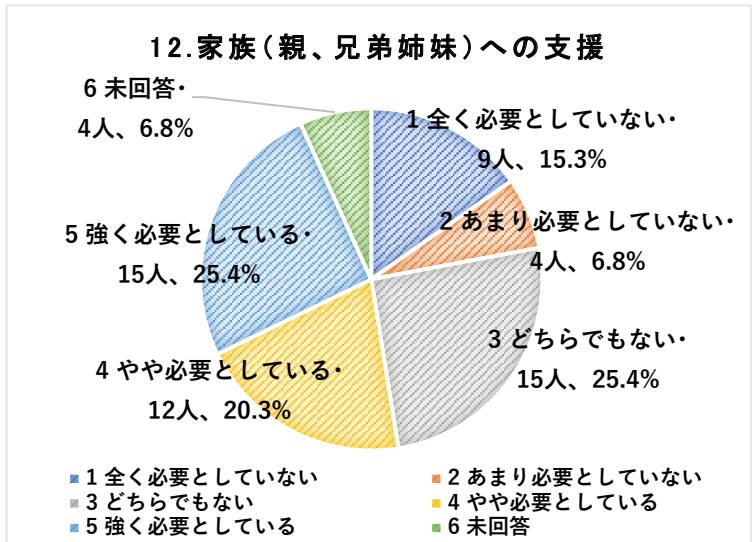
(11) 法律相談

1 全く必要としていない	19
2 あまり必要としていない	8
3 どちらでもない	15
4 やや必要としている	6
5 強く必要としている	7
6 未回答	4
総数	59



(12) 家族(親、兄弟姉妹)への支援

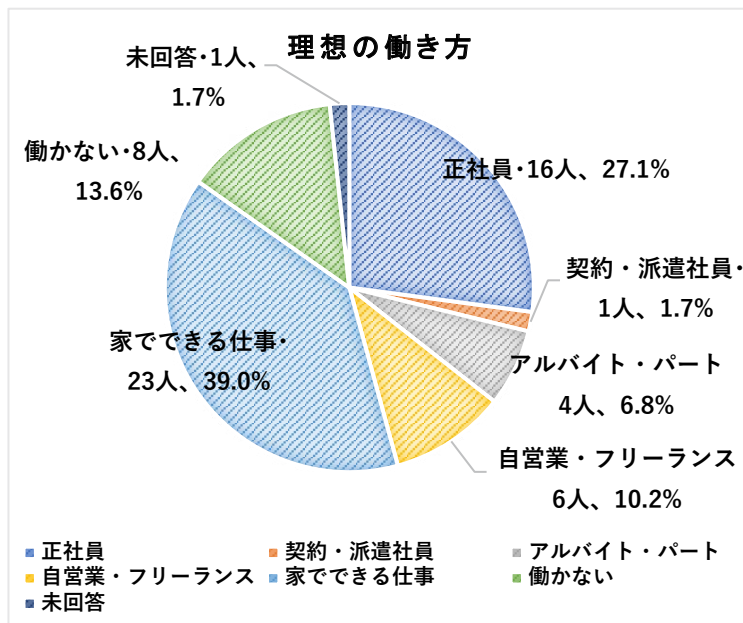
1 全く必要としていない	9
2 あまり必要としていない	4
3 どちらでもない	15
4 やや必要としている	12
5 強く必要としている	15
6 未回答	4
総数	59



13 理想の働き方について

「家でできる仕事」が23人(39.0%)で最も多く、次いで「正社員」が16人(27.1%)、「働かない」が8人(13.6%)となっている。

正社員	16
契約・派遣社員	1
アルバイト・パート	4
自営業・フリーランス	6
家でできる仕事	23
働かない	8
未回答	1
総数	59



14 一番困っている事等（自由記述）

- ・両親が高齢になってきたこと、自分の心身の調子が悪いこと、就労できないこと
- ・何もかもがストレスになり生きているのが辛い(親の健康と生活資金)
- ・人間関係の構築ができず、また関係性ができても持続できない事。
- ・宮崎にリカバリーカレッジをつくってください。
- ・自分のひきこもりで親や兄弟に迷惑をかけてしまっているのではないかと不安で仕方ない、そんな精神的に辛い日々を続けていることです。
- ・生き方がわからない。他者との距離感がわからない。人生をより良く積み上げていく生き方がわからない。就きたい仕事がありません。お金もありません。

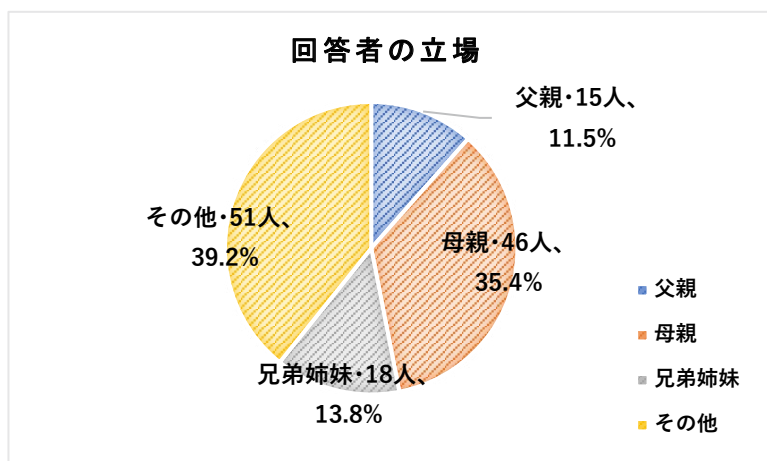
第2章 調査結果

ひきこもりの当事者や家族等を対象とした支援ニーズ調査
(家族等)

ひきこもりの当事者や家族等を対象としたニーズ調査結果(家族等)

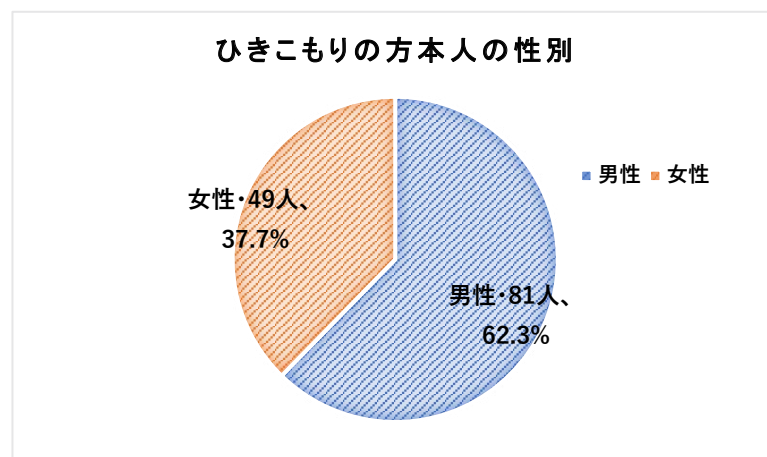
1 回答者数

回答者の総数は、130人で、ひきこもりの方との関係は、母親が46人(35.4%)で最も多く、次いで兄弟姉妹18人(13.8%)となっている。



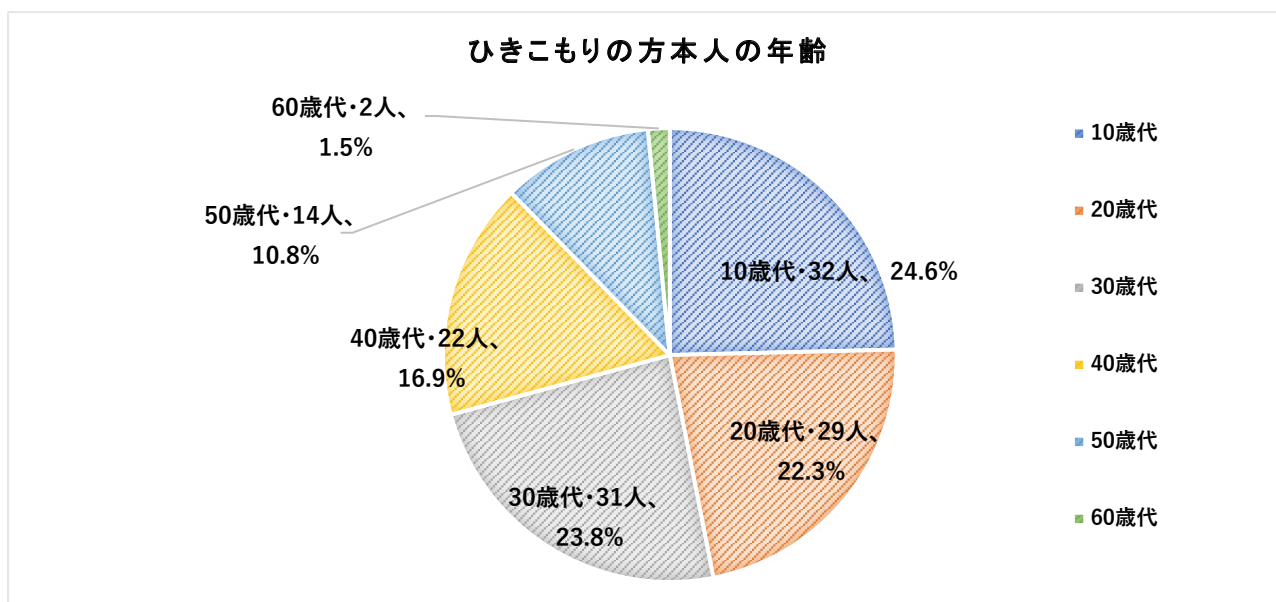
2 ひきこもりの方本人の性別

ひきこもりの方本人の性別は、男性が81人(62.3%)、女性が49人(37.7%)、となっており男性が女性の約2倍弱となっている。



3 ひきこもりの方本人の年齢

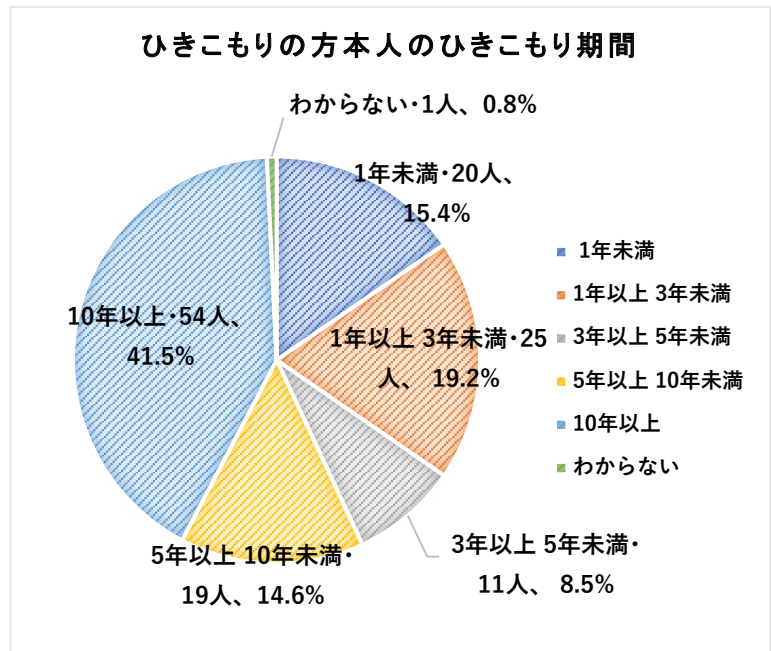
ひきこもりの方本人の年齢は「10歳代」が32人(24.6%)で最も多く、次いで「30歳代」が31人(23.8%)、「20歳代」が29人(22.3%)となっている。



4 ひきこもりの方本人のひきこもり期間

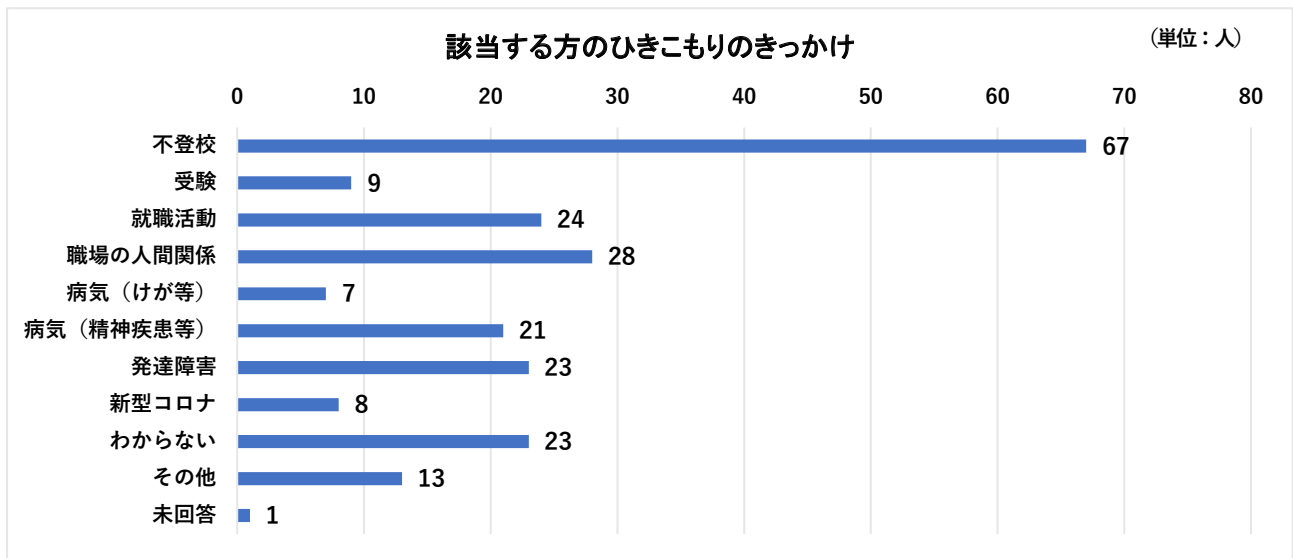
10年以上が54人(41.5%)で最も多く、次いで1年以上3年未満が25人(19.2%)となっている。

1年未満	20
1年以上 3年未満	25
3年以上 5年未満	11
5年以上 10年未満	19
10年以上	54
わからない	1
未回答	0
総数	130



5 ひきこもりの方本人のひきこもりのきっかけ (複数回答)

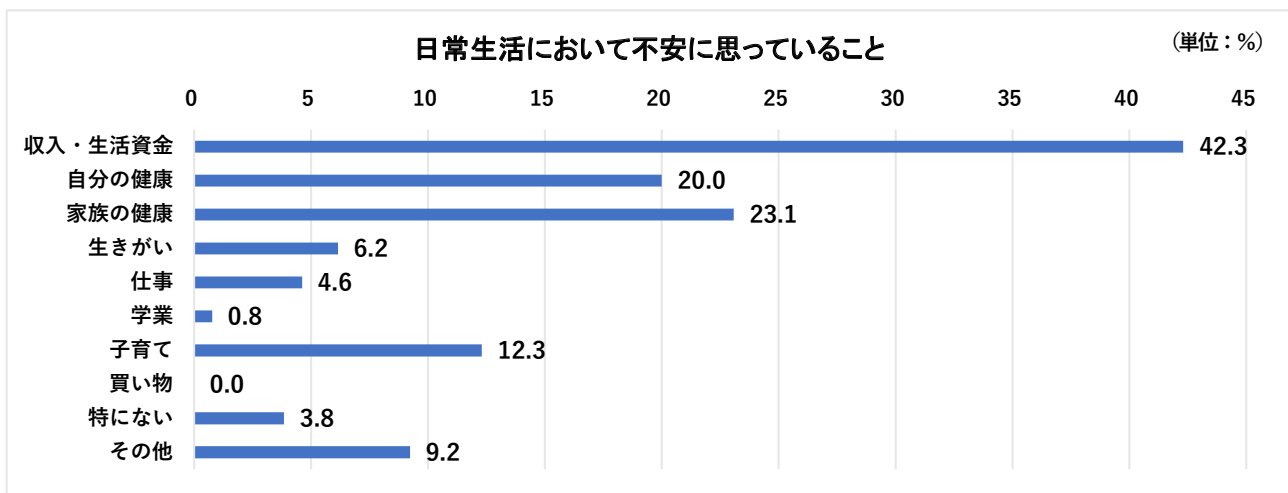
「不登校」が67人(51.5%)と最も多く、次いで、「職場の人間関係」が28人(21.5%)となっている。



6 日常生活において不安に思っていること

「収入・生活費」が55人(42.3%)と最も多く、次いで「家族の健康」が30人(23.1%)となっている。

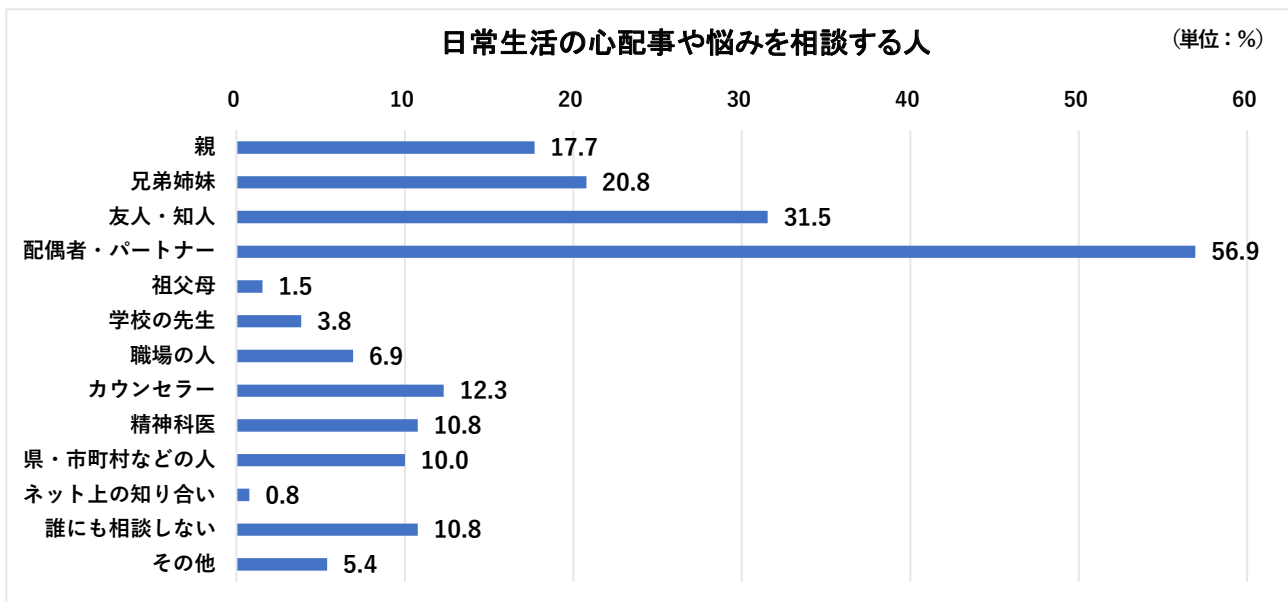
収入・生活資金	55	学業	1
自分の健康	26	子育て	16
家族の健康	30	買い物	0
生きがい	8	特にない	5
仕事	6	その他	12



7 日常生活の心配事や悩みを相談する人 (複数回答)

「配偶者・パートナーへの相談」が74人(56.9%)と最も多く、次に「友人・知人」が41人(31.5%)となっている。

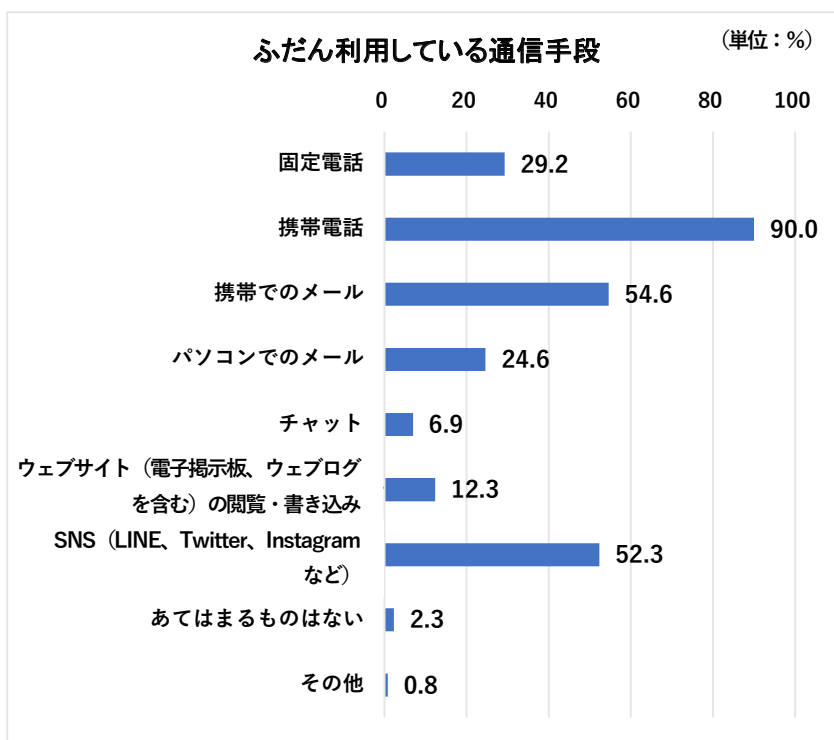
親	23	カウンセラー	16
兄弟姉妹	27	精神科医	14
友人・知人	41	県・市町村などの人	13
配偶者・パートナー	74	ネット上の知り合い	1
祖父母	2	誰にも相談しない	14
学校の先生	5	その他	7
職場の人	9		



8 ふだん利用している通信手段（複数回答）

「携帯電話」が117人(90.0%)と最も多く、次に「携帯でのメール」が71人(54.6%)となっている。

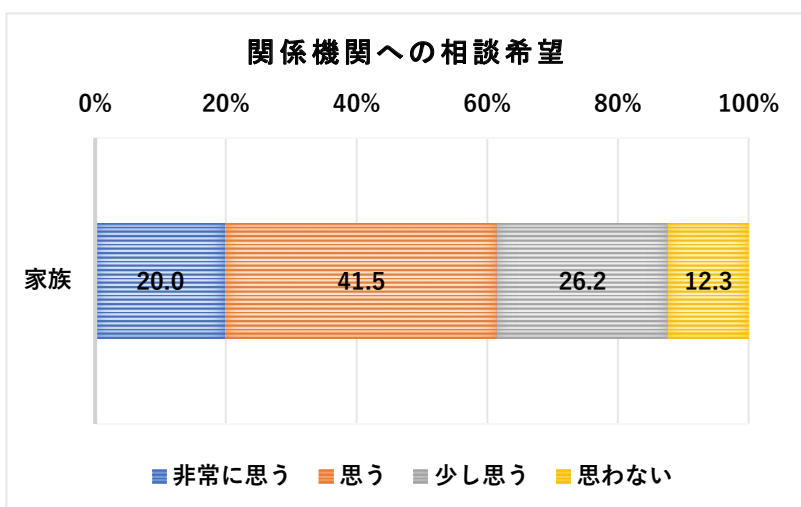
固定電話	38
携帯電話	117
携帯でのメール	71
パソコンでのメール	32
チャット	9
ウェブサイト(電子掲示板、ウェブログを含む)の閲覧・書き込み	16
SNS(LINE、Twitter、Instagram など)	68
あてはまるものはない	3
その他	1



9 関係機関への相談希望

相談希望のある方は「非常に思う」「思う」「少し思う」を合計すると114人(87.7%)となっている。

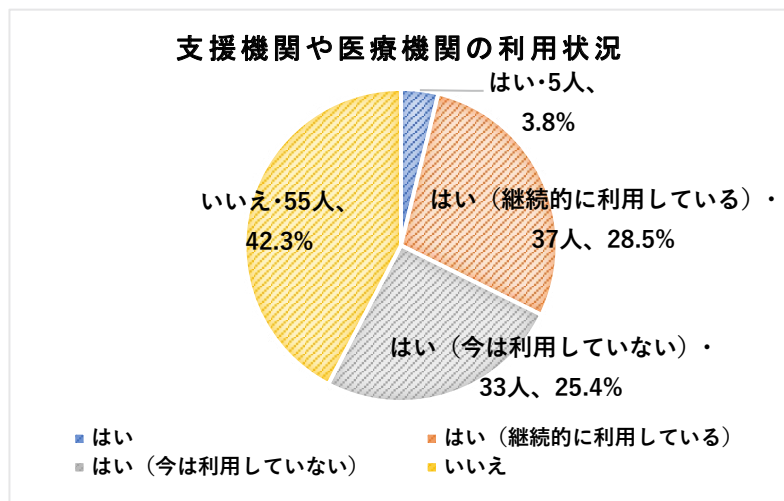
非常に思う	26
思う	54
少し思う	34
思わない	16
総数	130



10 支援機関や医療機関の利用状況

支援機関や医療機関を利用したことがある人は75人(57.7%)となっている。

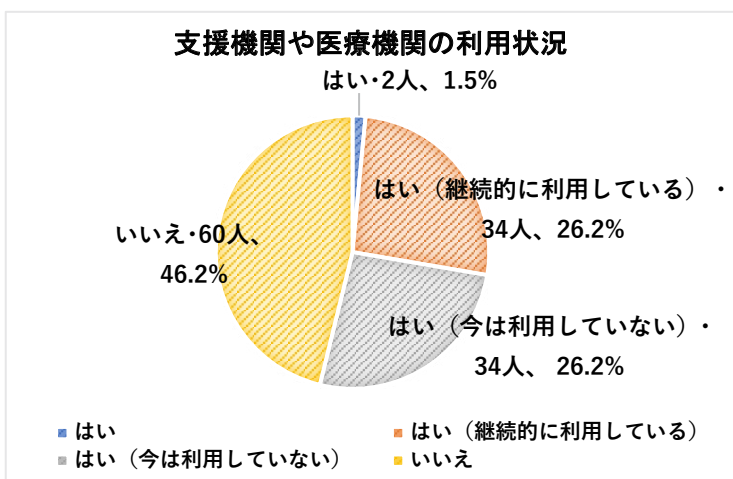
はい	5
はい(継続的に利用している)	37
はい(今は利用していない)	33
いいえ	55
総数	130



11 ひきこもりの方本人の支援機関や医療機関の利用状況

支援機関や医療機関を利用したことがある人は70人(53.8%)となっている。

はい	2
はい(継続的に利用している)	34
はい(今は利用していない)	34
いいえ	60
総数	130

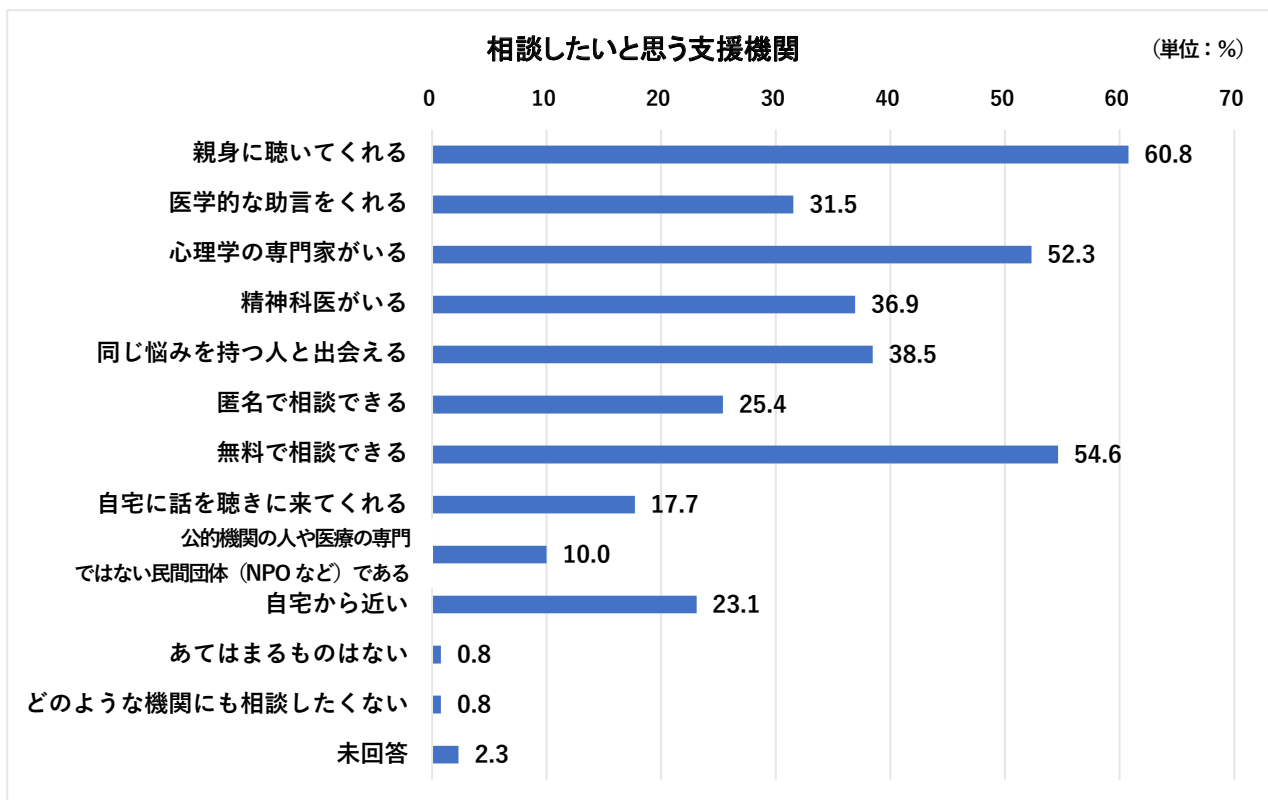


12 相談したいと思う支援機関(複数回答)

「親身に聴いてくれる」が79人(60.8%)と最も多く、次いで「無料で相談できる」が71人(54.6%)となっている。

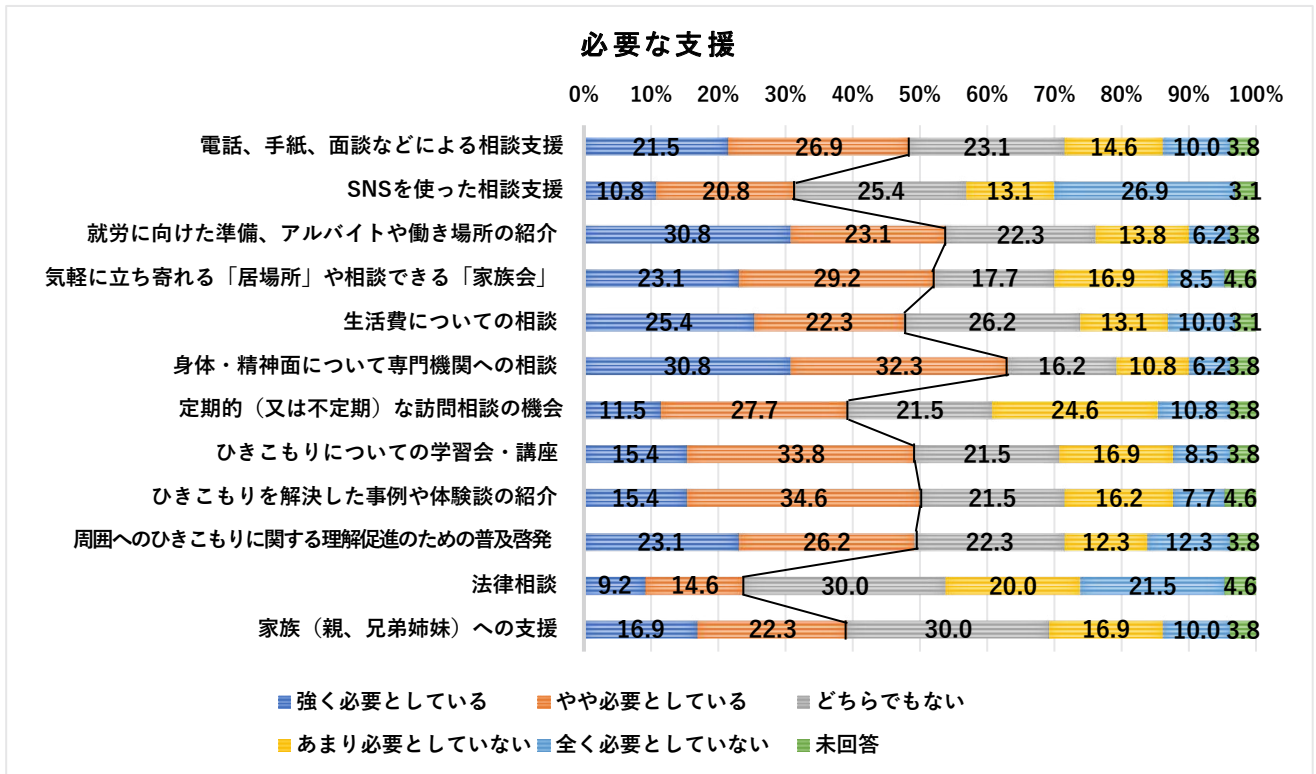
親身に聴いてくれる	79
医学的な助言をくれる	41
心理学の専門家がいる	68
精神科医がいる	48
同じ悩みを持つ人と出会える	50
匿名で相談できる	33
無料で相談できる	71

自宅に話を聴きに来てくれる	23
公的機関の人や医療の専門ではない民間団体(NPOなど)である	13
自宅から近い	30
あてはまるものはない	1
どのような機関にも相談したくない	1
未回答	3



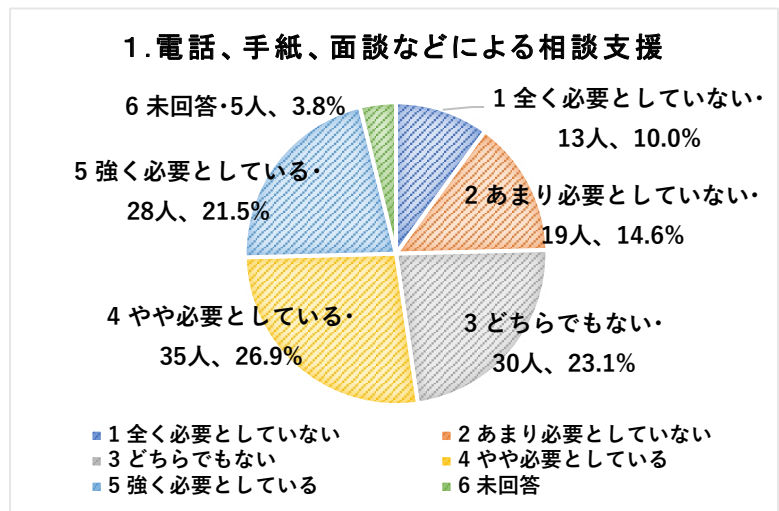
13 必要な支援

「強く必要としている」「やや必要としている」を合わせると、「身体・精神面について専門機関への相談」が82人(63.1%)と最も高く、次いで「就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介」が70人(53.9%)となっている。



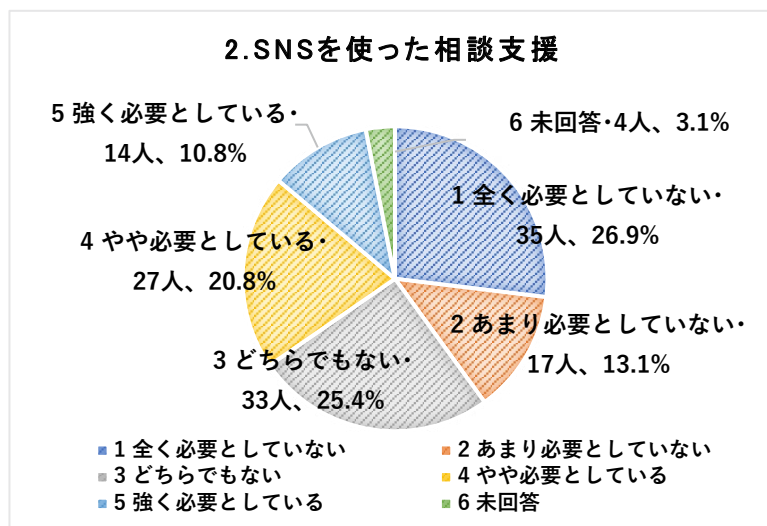
(1) 電話、手紙、面談などによる相談支援

1 全く必要としていない	13
2 あまり必要としていない	19
3 どちらでもない	30
4 やや必要としている	35
5 強く必要としている	28
6 未回答	5
総数	130



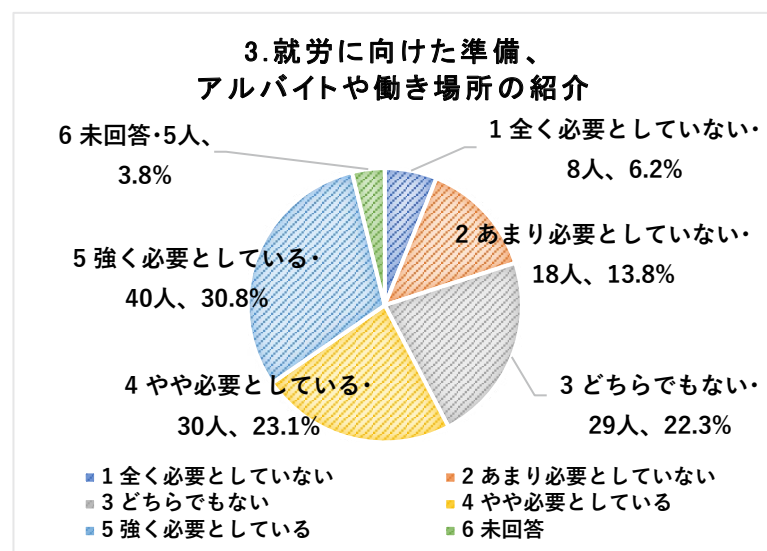
(2) SNSを使った相談支援

1 全く必要としていない	35
2 あまり必要としていない	17
3 どちらでもない	33
4 やや必要としている	27
5 強く必要としている	14
6 未回答	4
総数	130



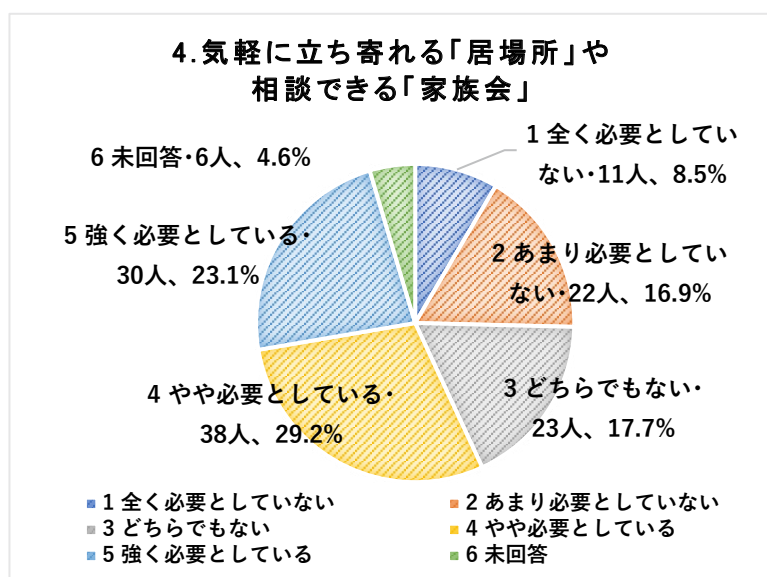
(3) 就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介

1 全く必要としていない	8
2 あまり必要としていない	18
3 どちらでもない	29
4 やや必要としている	30
5 強く必要としている	40
6 未回答	5
総数	130



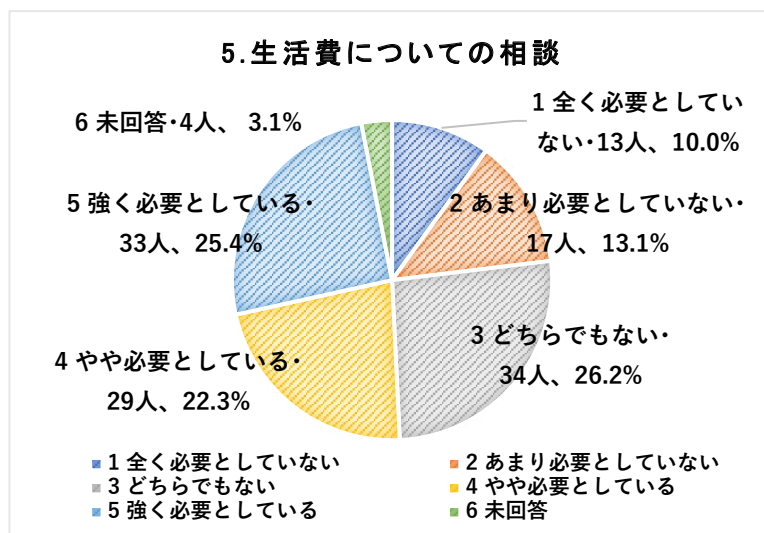
(4) 気軽に立ち寄れる「居場所」や相談できる「家族会」

1 全く必要としていない	11
2 あまり必要としていない	22
3 どちらでもない	23
4 やや必要としている	38
5 強く必要としている	30
6 未回答	6
総数	130



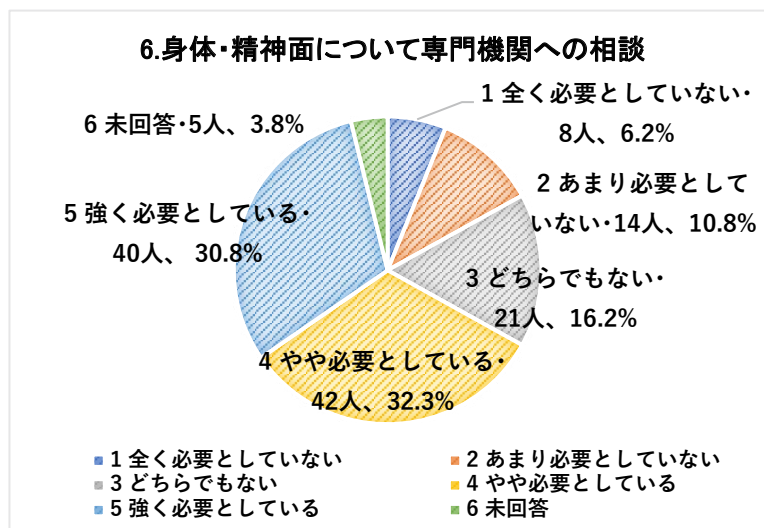
(5) 生活費についての相談

1 全く必要としていない	13
2 あまり必要としていない	17
3 どちらでもない	34
4 やや必要としている	29
5 強く必要としている	33
6 未回答	4
総数	130



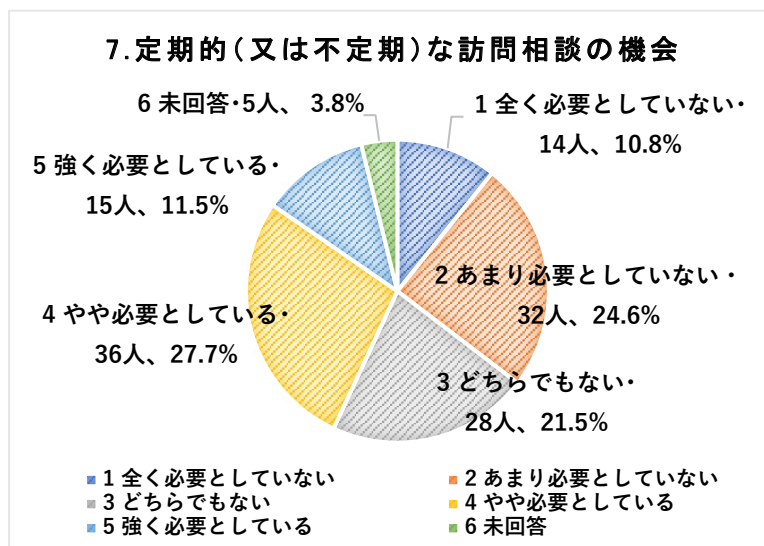
(6) 身体・精神面について専門機関への相談

1 全く必要としていない	8
2 あまり必要としていない	14
3 どちらでもない	21
4 やや必要としている	42
5 強く必要としている	40
6 未回答	5
総数	130



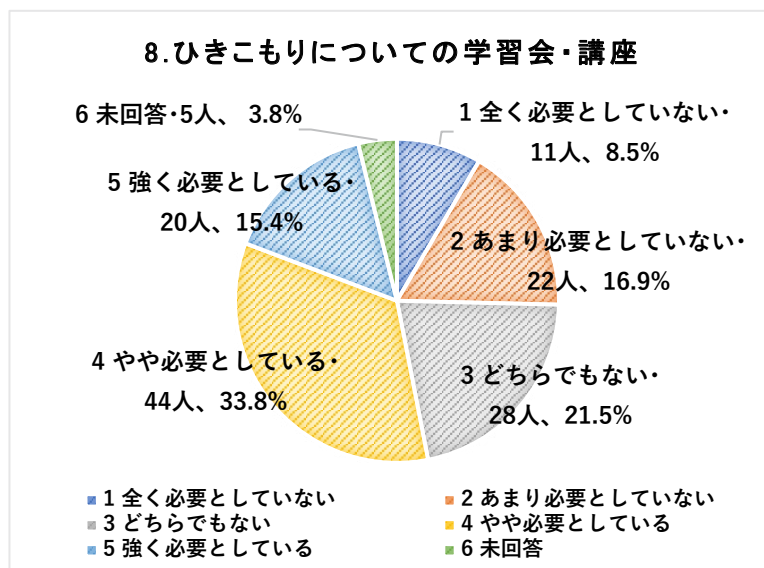
(7) 定期的(又は不定期)な訪問相談の機会

1 全く必要としていない	14
2 あまり必要としていない	32
3 どちらでもない	28
4 やや必要としている	36
5 強く必要としている	15
6 未回答	5
総数	130



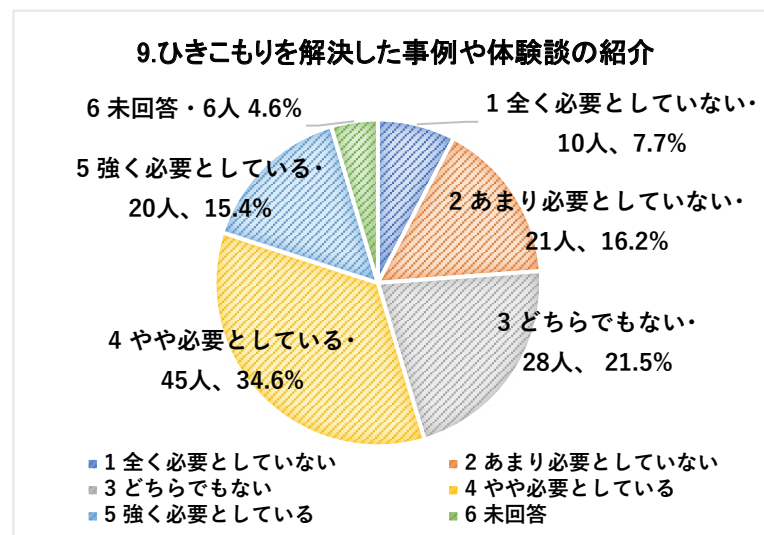
(8) ひきこもりについての学習会・講座

1 全く必要としていない	11
2 あまり必要としていない	22
3 どちらでもない	28
4 やや必要としている	44
5 強く必要としている	20
6 未回答	5
総数	130



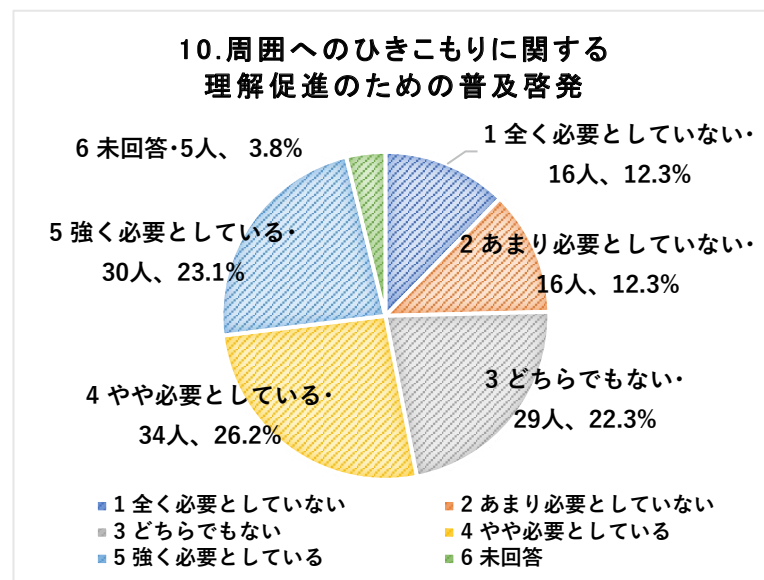
(9) ひきこもりを解決した事例や体験談の紹介

1 全く必要としていない	10
2 あまり必要としていない	21
3 どちらでもない	28
4 やや必要としている	45
5 強く必要としている	20
6 未回答	6
総数	130



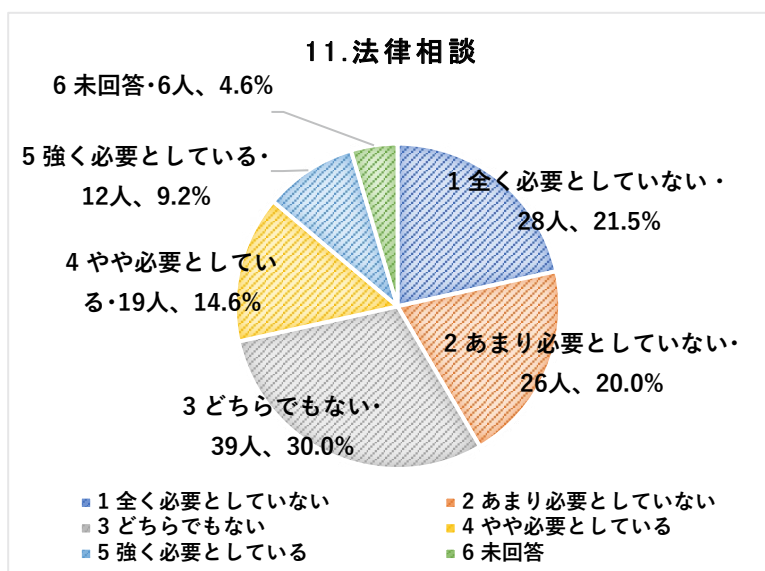
(10) 周囲へのひきこもりに関する理解促進のための普及啓発

1 全く必要としていない	16
2 あまり必要としていない	16
3 どちらでもない	29
4 やや必要としている	34
5 強く必要としている	30
6 未回答	5
総数	130



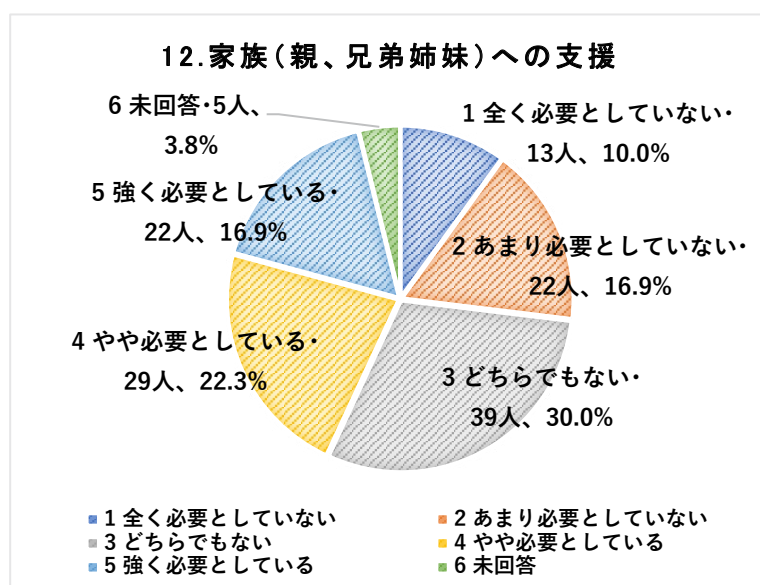
(11) 法律相談

1 全く必要としていない	28
2 あまり必要としていない	26
3 どちらでもない	39
4 やや必要としている	19
5 強く必要としている	12
6 未回答	6
総数	130



(12) 家族(親、兄弟姉妹)への支援

1 全く必要としていない	13
2 あまり必要としていない	22
3 どちらでもない	39
4 やや必要としている	29
5 強く必要としている	22
6 未回答	5
総数	130



14 一番困っている事等（自由記述）

<ひきこもりへの理解>

- ・不登校についての学校の理解。ここがきっかけでひきこもりになってしまう。
- ・ひきこもりへの理解のなさがこの問題を解決から遠ざけているような気がする。「ひきこもっていいんだよ」「ゆっくりでいいよ」など、支える側の向き合い方、モチベーションアップ対策などが広まるとありがたい。不登校などの学校の対応は、とにかく登校する、出席日数などの判断基準のみで、別の対応策の提示が少ない。ひきこもりを抱えている親へのバックアップをもっと知らせてほしい。でないと、8050・9060問題は永久に解決しない。

<家族等の負担>

- ・日によって感情にムラがある。悪いときはどう対処していいかわからない。日々生活が振り回されている。
- ・親が一人で抱え込んでいて、身内でさえ、ひきこもりを「弱さ」だと思っている。
- ・当事者（本人や身近な家族）だけではうまくいかない部分も多く、閉塞感や虚無感に押しつぶされそうになるときも多々あった。少しずつでも現状を変えるために何らかの外部との接点が欲しいと思った。

<経済的な不安>

- ・本人にあなたはひきこもり状態であると直接いえない。市のひきこもり相談窓口で相談したが、解決策は見いだせなかった。これから無収入での生活が心配。

<支援方法について>

- ・ひきこもりの子供を持つ親への対応策の啓発と全くひきこもりの世界がわからない方へのメディアでの告知による周知。ひきこもり本人の辛さが、さぼってる・怠けてるにならない世の中になって欲しい。そうしないと、ひきこもりの子供を守る親までダメになってしまう。そのような家族へのバックアップ体制が整っていないことが困っている。
- ・具体的な支援が必要。悩みを打ち明け、同調してくれるだけじゃ意味がない。将来のビジョンが見えないから不安になり、ますます外界との隔たりが深くなる。ひきこもりにもいろいろある。生きにくい世の中から身を守っている人。世に出る時のデリケートな時期に、安心出来るサポートが必要。失敗しても大丈夫、生活は保証するよ、だからチャレンジしてみよう、となればよいが。わたしはまだ働いてるが、退職して年金だけなら子供を養う自信は無い。ひきこもりは、甘えでは無い。世に出たいけど、出れない。過渡期が必要。一人一人ニーズが違うから対応は難しい。行政に頼ろうとするのは現実的ではない。

<行政への意見>

- ・そういった機関を利用したいと思った時に、手続き、利用申し込み、登録など全てにおいてめんどくさく、難しい。利用する側の心理や現状からすると、信頼できるものではないと思っていたと思う。
- ・多種多様な働き方に対応できる社会（受け皿）の実現に向けて、何をどう取り組んでいるのか情報が出てこない。

第3章 資料編

令和4年度

宮崎県障がい福祉課

ひきこもりに関するアンケート（調査票）

1 調査の対象

この調査では、おおむね15歳から65歳までの方で、次に該当するような方を「ひきこもり等の状態にある方」とします。

- (1) 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態の方
 - (2) 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々（会話を必要としない）買い物などで外出することがある方
- ※ただし、重度の障がい等で外出できない方は除きます。

2 調査対象地域

あなたが民生委員・児童委員として受け持っておられる地域とします。

3 調査の基準

令和4年9月1日現在とします。

※現在把握されている情報で御記入ください。当調査への回答のための戸別訪問や関係先等への照会は行っていただく必要はありません。

4 調査結果の取扱い

調査の結果は、市町村別・年齢別・支援の必要性などにより集計の上取りまとめます。

個々の民生委員・児童委員の方の回答の公表や取材等に応じる形で外部に出ることはありません。

市町村名： _____

民児協名： _____

問1 あなたの受け持ち地域に、次に該当する方は現在おられますか。

おおむね15歳から65歳までの方で、次に該当するような方を「ひきこもり等の状態にある方」とします。

- (1) 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続いていて自宅にひきこもっている状態の方
 - (2) 仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々（会話を必要としない）買い物などで外出することがある方
- ※ただし、重度の障がい等で外出できない方は除きます。

※A、Bいずれか該当する項目を○で囲んでください。

A いない ⇒ 問5へお進みください。

B いる ⇒ 問2へお進みください。

問2 問1で「いる」とお答えの場合、何人いらっしゃいますか。

ひきこもり等の状態にある方の人数： 人 ⇒ 問3へお進みください。

問3 問2の方がひきこもりの状態であることをどのように知りましたか。

※A～Eいずれか該当する項目を○で囲んでください。（複数回答可）

A 家族から相談を受けた。

B 家庭訪問の際にたまたま知った。

C 近隣の人からたまたま聞いた。

D 前任者から聞いた。

E その他（ ）

⇒問4へお進みください。

問4 問2の方の状況をお教えてください。（記入後問5へお進みください。）

- 該当する方お一人につき、次ページの表の1列をお使いください。
- 該当する項目について、○で囲むか、[]内に御記載ください。
- 1世帯に2人以上おられる場合は、1人につき1列をお使いください。
※4ページ（8人分）あります。御氏名は記入いただかなくて結構です。
- 該当する方が多く、用紙が足りない場合は、次ページ以降をコピーしてください。

	該当者 A	該当者 B
1 該当する方の性別	男性 ・ 女性	男性 ・ 女性
2 該当する方の年齢 ※おわかりでない場合は、推測で結構です ので選択ください。	15～19 歳 20 代前半・後半 30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60～65 歳	15～19 歳 20 代前半・後半 30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60～65 歳
3 該当する方の家族構成 (同居する家族の方を全て○で囲んで ください。)	父親・母親・祖父・ 祖母・兄弟姉妹・配偶者・ 子供・わからない その他 ()	父親・母親・祖父・ 祖母・兄弟姉妹・配偶 者・子供・わからない その他 ()
4 該当する方の親の年齢 (おわかりになる範囲でお答えくださ い。)	30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60 代前半・後半 70 代前半・後半 80 代前半・後半 それ以上	30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60 代前半・後半 70 代前半・後半 80 代前半・後半 それ以上
5 該当する方の状況 ①6 か月以上ひきこもっている ②ひきこもってはいるが、買い物程度に は出る ③分からない	① ・ ② ・ ③	① ・ ② ・ ③
6 ひきこもっている期間	1 年未満、3 年未満、 5 年未満、10 年未満 10 年以上、わからない	1 年未満、3 年未満、 5 年未満、10 年未満 10 年以上 わからない
7 ひきこもりなどにいたった経緯 (おわかりになる範囲で結構です。) (複数選択可) ①受験、②不登校、 ③就職できなかった ④就職したが失業又は離職した ⑤家族関係の問題、⑥本人の疾病 ⑦性格、⑧わからない ⑨その他	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ ⑦ ・ ⑧ ・ ⑨ (以下に記入ください) []	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ ⑦ ・ ⑧ ・ ⑨ (以下に記入ください) []
8 その方への支援の状況 (おわかりになる範囲で結構です。) (複数選択可) ①医療機関等の精神医療等の支援を受け ている ②行政機関等の支援を受けている ③NPO等の支援を受けている ④わからない ⑤上記機関の相談は受けているが、解決 できないで困っている ⑥その他 (⑥は状況を御記入ください)	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ []	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ []

	該当者 C	該当者 D
1 該当する方の性別	男性 ・ 女性	男性 ・ 女性
2 該当する方の年齢 ※おわかりでない場合は、推測で結構です ので選択ください。	15～19 歳 20 代前半・後半 30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60～65 歳	15～19 歳 20 代前半・後半 30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60～65 歳
3 該当する方の家族構成 (同居する家族の方を全て○で囲んで ください。)	父親・母親・祖父・ 祖母・兄弟姉妹・配偶者・ 子供・わからない その他 ()	父親・母親・祖父・ 祖母・兄弟姉妹・配偶 者・子供・わからない その他 ()
4 該当する方の親の年齢 (おわかりになる範囲でお答えくださ い。)	30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60 代前半・後半 70 代前半・後半 80 代前半・後半 それ以上	30 代前半・後半 40 代前半・後半 50 代前半・後半 60 代前半・後半 70 代前半・後半 80 代前半・後半 それ以上
5 該当する方の状況 ①6 か月以上ひきこもっている ②ひきこもってはいるが、買い物程度に は出る ③分からない	① ・ ② ・ ③	① ・ ② ・ ③
6 ひきこもっている期間	1 年未満、3 年未満、 5 年未満、10 年未満 10 年以上、わからない	1 年未満、3 年未満、 5 年未満、10 年未満 10 年以上 わからない
7 ひきこもりなどにいたった経緯 (おわかりになる範囲で結構です。) (複数選択可) ①受験、②不登校、 ③就職できなかった ④就職したが失業又は離職した ⑤家族関係の問題、⑥本人の疾病 ⑦性格、⑧わからない ⑨その他	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ ⑦ ・ ⑧ ・ ⑨ (以下に記入ください) []	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ ⑦ ・ ⑧ ・ ⑨ (以下に記入ください) []
8 その方への支援の状況 (おわかりになる範囲で結構です。) (複数選択可) ①医療機関等の精神医療等の支援を受け ている ②行政機関等の支援を受けている ③NPO等の支援を受けている ④わからない ⑤上記機関の相談は受けているが、解決 できないで困っている ⑥その他 (⑥は状況を御記入ください)	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ []	① ・ ② ・ ③ ④ ・ ⑤ ・ ⑥ []

問5 受け持ち地域のことにかかわらず、ひきこもりを有する方への支援策として、必要だと思われることをお答えください。

※A～Gの該当する項目を○で囲んでください（複数回答可）

A 医療支援・カウンセリング等の充実

B 総合相談窓口の充実

C 支援・相談窓口の周知・PR

D 身近な地域での相談窓口の設置

E ひきこもりの家族教室の充実

(家族がひきこもりについて学ぶ学習会等)

F 一般県民を対象とした講演会

G その他 ()

上記の支援策が必要だと思われた理由を簡単に御記入ください

[]

⇒問6へお進みください。

問6 ひきこもりに関する対応について、困っていることなどがございましたらお答えください。

[]

⇒問7へお進みください。

問7 ひきこもり等の状態にある方がいるご家庭で困っていると思われることなどがありましたらお答えください。(おわかりになる範囲で結構です。)

[]

⇒問8へお進みください。

問8 コロナ禍において、ひきこもり等の状態にある方の数に影響があったと感じますか。(いずれか1つお選びください)

- A 増えたと感じる
- B どちらかという増えたと感じる
- C 変わらない
- D どちらかという減ったと感じる
- E 減ったと感じる
- F 分からない

⇒問9へお進みください。

問9 コロナ禍における、地域の状況の把握についてどのように感じていますか。①～③のいずれかをお選びください。

- A 家族からの相談 ①増えた ②減った ③変わらない
- B 家庭訪問の回数 ①増えた ②減った ③変わらない
- C 近隣の人からの情報 ①増えた ②減った ③変わらない
- D その他 ()

⇒問10へお進みください。

問10 その他、御意見やお気づきの点がございましたら、自由に御記入ください。

[]

以上でアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

ひきこもりに関するアンケートのお願い ～ひきこもりの当事者又は経験者、その家族の皆さまへのアンケート～

このアンケートは、ひきこもりの当事者又は経験者及びその家族の皆様の実情や思いをお聞きし、今後のひきこもり支援に生かすことを目的に宮崎県が実施するものです。

本アンケートの結果は、報告書やホームページなどを通して公表させていただきますが、皆様のご意見は、調査対象者が特定されないよう全体を集計します。また、回答内容や個人情報が上記目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることはありません。

本アンケートの趣旨をご理解いただき、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご記入に際してのお願い

「ひきこもり状態」

・仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流はないが、時々（会話を必要としない）買い物などで外出することがある方も含みます。

1. アンケート用紙は、【ご本人用】と【ご家族用】があります。該当するアンケート用紙にご回答ください。
2. 質問は、番号順にお答えください。回答に迷う場合は、あなたの気持ち、考えにできるだけ近いものをお選びください。
3. 「その他」をお答えになった場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. 無記名での調査となりますので、アンケート提出後は返却できません。ご了承ください。

このアンケートは、インターネット上の入力フォームと、紙に印刷されたもの（次ページ以降）の2つの方法で回答することができます。

オンラインでの回答を希望する方は、右の二次元コードから回答フォームへアクセスしてください。



オンライン
回答フォーム

アンケートは令和4年12月19日（月）までにお答えください。

（紙でお答えいただいた場合は同封の返信用封筒にて、上記期限までにご返送ください。）

問い合わせ先

県庁障がい福祉課 川村・湯浅 0985-32-4471

ひきこもり支援ニーズアンケート【ご本人用】

質問1	あなたの年齢をおしえてください。	() 歳
質問2	あなたの性別をおしえてください。	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他
質問3	あなたのひきこもり期間（累計）をおしえてください。	() 年 () か月) くらい
質問4	あなたのひきこもりのきっかけとなったと思われることをすべて選んでください。（複数回答）	<input type="checkbox"/> 不登校 <input type="checkbox"/> 受験 <input type="checkbox"/> 就職活動 <input type="checkbox"/> 職場の人間関係 <input type="checkbox"/> 病気（けが等） <input type="checkbox"/> 病気（精神疾患等） <input type="checkbox"/> 発達障害 <input type="checkbox"/> 新型コロナ <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> その他()
質問5	あなたが日常生活において不安に思っていることを1つ選んでください。	<input type="checkbox"/> 収入・生活資金 <input type="checkbox"/> 自分の健康 <input type="checkbox"/> 家族の健康 <input type="checkbox"/> 生きがい <input type="checkbox"/> 仕事 <input type="checkbox"/> 学業 <input type="checkbox"/> 子育て <input type="checkbox"/> 買い物 <input type="checkbox"/> 特にない <input type="checkbox"/> その他()
質問6	あなたの日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する人をすべて選んでください。（複数回答）	<input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 配偶者・パートナー <input type="checkbox"/> 祖父母 <input type="checkbox"/> 学校の先生 <input type="checkbox"/> 職場の人 <input type="checkbox"/> カウンセラー <input type="checkbox"/> 精神科医 <input type="checkbox"/> 県・市町村などの人 <input type="checkbox"/> ネット上の知り合い <input type="checkbox"/> 誰にも相談しない <input type="checkbox"/> その他()
質問7	以下の通信手段の中で、ふだん利用しているものをすべて選んでください。（複数回答）	<input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話でのメール <input type="checkbox"/> パソコンでのメール <input type="checkbox"/> チャット <input type="checkbox"/> ウェブサイト（電子掲示板、ウェブログを含む）の閲覧・書き込み <input type="checkbox"/> SNS（LINE、Twitter、Instagramなど） <input type="checkbox"/> あてはまるものはない <input type="checkbox"/> その他()
質問8	あなたは、ひきこもりに関して、関係機関に相談したいと思いませんか。	<input type="checkbox"/> 非常に思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> 少し思う <input type="checkbox"/> 思わない
質問9	あなたは、ひきこもりに関して支援機関や医療機関を利用したことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ （ <input type="checkbox"/> 継続的に利用している <input type="checkbox"/> 今は利用していない）
質問10	現在の状況について、関係機関に相談するとすれば、どのような機関なら、相談したいと思いませんか。すべて選んでください。	<input type="checkbox"/> 親身に聴いてくれる <input type="checkbox"/> 医学的な助言をくれる <input type="checkbox"/> 心理学の専門家がいる <input type="checkbox"/> 精神科医がいる <input type="checkbox"/> 同じ悩みを持つ人と出会える <input type="checkbox"/> 匿名で相談できる <input type="checkbox"/> 無料で相談できる <input type="checkbox"/> 自宅に話を聴きにきてくれる <input type="checkbox"/> 公的機関の人や医療の専門ではない民間団体（NPOなど）である <input type="checkbox"/> 自宅から近い <input type="checkbox"/> あてはまるものはない <input type="checkbox"/> どのような機関にも相談したくない。

質問 10-2	どのような機関にも相談したくないと回答された方にお尋ねします。相談したくないと思う理由についてすべて選んでください。	<input type="checkbox"/> 自分のことを知られたくない <input type="checkbox"/> 相談しても解決できないと思う <input type="checkbox"/> 何をきかれるか不安に思う <input type="checkbox"/> 相手にうまく話せないと思う <input type="checkbox"/> 相談に行ったことを周囲に知られたくない <input type="checkbox"/> 自分がひきこもりであると認めたくない <input type="checkbox"/> お金がかかると思う <input type="checkbox"/> 相談機関が近くにない <input type="checkbox"/> 特に理由はない <input type="checkbox"/> 相談する必要はない <input type="checkbox"/> その他()																																																																																																																																				
質問11	<p>以下について、あなたにとってどれくらい必要か、あてはまる数字を選んでください。 1：全く必要としていない／2：あまり必要としていない／3：どちらでもない／ 4：やや必要としている／5：強く必要としている (ひきこもりを過去に経験された方は、当時の状況でお答えください。)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 60%;">電話、手紙、面談などによる相談支援</td> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">—</td> <td style="width: 10%;">2</td> <td style="width: 10%;">—</td> <td style="width: 10%;">3</td> <td style="width: 10%;">—</td> <td style="width: 10%;">4</td> <td style="width: 10%;">—</td> <td style="width: 10%;">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>SNSを使った相談支援</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>気軽に立ち寄れる「居場所」や相談できる「家族会」</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>生活費についての相談</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>身体・精神面について専門機関への相談</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>定期的（又は不定期）な訪問相談の機会</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ひきこもりについての学習会・講座</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ひきこもりを解決した事例や体験談の紹介</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>周囲へのひきこもりに関する理解促進のための普及啓発</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>法律相談</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>家族（親、兄弟姉妹）への支援</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>5</td> </tr> </table>		1	電話、手紙、面談などによる相談支援	1	—	2	—	3	—	4	—	5	2	SNSを使った相談支援	1	—	2	—	3	—	4	—	5	3	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	1	—	2	—	3	—	4	—	5	4	気軽に立ち寄れる「居場所」や相談できる「家族会」	1	—	2	—	3	—	4	—	5	5	生活費についての相談	1	—	2	—	3	—	4	—	5	6	身体・精神面について専門機関への相談	1	—	2	—	3	—	4	—	5	7	定期的（又は不定期）な訪問相談の機会	1	—	2	—	3	—	4	—	5	8	ひきこもりについての学習会・講座	1	—	2	—	3	—	4	—	5	9	ひきこもりを解決した事例や体験談の紹介	1	—	2	—	3	—	4	—	5	10	周囲へのひきこもりに関する理解促進のための普及啓発	1	—	2	—	3	—	4	—	5	11	法律相談	1	—	2	—	3	—	4	—	5	12	家族（親、兄弟姉妹）への支援	1	—	2	—	3	—	4	—	5
1	電話、手紙、面談などによる相談支援	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
2	SNSを使った相談支援	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
3	就労に向けた準備、アルバイトや働き場所の紹介	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
4	気軽に立ち寄れる「居場所」や相談できる「家族会」	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
5	生活費についての相談	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
6	身体・精神面について専門機関への相談	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
7	定期的（又は不定期）な訪問相談の機会	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
8	ひきこもりについての学習会・講座	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
9	ひきこもりを解決した事例や体験談の紹介	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
10	周囲へのひきこもりに関する理解促進のための普及啓発	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
11	法律相談	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
12	家族（親、兄弟姉妹）への支援	1	—	2	—	3	—	4	—	5																																																																																																																												
質問12	あなたにとって理想の働き方についておしえてください。	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> アルバイト・パート <input type="checkbox"/> 家でできる仕事 <input type="checkbox"/> 契約・派遣社員 <input type="checkbox"/> 自営業・フリーランス <input type="checkbox"/> 働かない																																																																																																																																				
質問13	あなたが今、一番困っていることは何ですか。自由にお書きください。																																																																																																																																					

質問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

宮崎県内には、ひきこもりについて相談できる機関がたくさんあります。

ひとりで悩まないで、誰かに話してみませんか。

少しでも心穏やかに過ごせるように、相談できる場所を見つけておきましょう。

ひきこもり支援ニーズアンケート【ご家族用】

質問1	あなたの立場をおしえてください。	<input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 兄弟・姉妹 <input type="checkbox"/> その他
質問2	あなたの年齢をおしえてください。	() 歳
質問3	ひきこもりの方ご本人の性別をおしえてください。	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/> その他
質問4	ひきこもりの方ご本人の年齢をおしえてください。	() 歳
質問5	ひきこもりの方ご本人のひきこもりの期間をおしえてください。(わかる範囲で結構です)	(年 月) くらい
質問6	ひきこもりの方ご本人のひきこもりのきっかけとなったと思われることをすべてお答えください。(複数回答)	<input type="checkbox"/> 不登校 <input type="checkbox"/> 受験 <input type="checkbox"/> 就職活動 <input type="checkbox"/> 職場の人間関係 <input type="checkbox"/> 病気(けが等) <input type="checkbox"/> 病気(精神疾患等) <input type="checkbox"/> 発達障害 <input type="checkbox"/> 新型コロナ <input type="checkbox"/> わからない <input type="checkbox"/> その他()
質問7	あなた自身が日常生活において不安に思っていることを1つ選んでください。	<input type="checkbox"/> 収入・生活資金 <input type="checkbox"/> 自分の健康 <input type="checkbox"/> 家族の健康 <input type="checkbox"/> 生きがい <input type="checkbox"/> 仕事 <input type="checkbox"/> 学業 <input type="checkbox"/> 子育て <input type="checkbox"/> 買い物 <input type="checkbox"/> 特にない <input type="checkbox"/> その他()
質問8	あなた自身の日常生活の心配ごとや悩みごとを相談する人をすべて選んでください。(複数回答)	<input type="checkbox"/> 親 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 友人・知人 <input type="checkbox"/> 配偶者・パートナー <input type="checkbox"/> 祖父母 <input type="checkbox"/> 学校の先生 <input type="checkbox"/> 職場の人 <input type="checkbox"/> カウンセラー <input type="checkbox"/> 精神科医 <input type="checkbox"/> 県・市町村などの人 <input type="checkbox"/> ネット上の知り合い <input type="checkbox"/> 誰にも相談しない <input type="checkbox"/> その他()
質問9	以下の通信手段の中で、ふだん利用しているものをすべて選んでください。(複数回答)	<input type="checkbox"/> 固定電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 携帯電話でのメール <input type="checkbox"/> パソコンでのメール <input type="checkbox"/> チャット <input type="checkbox"/> ウェブサイト(電子掲示板、ウェブログを含む)の閲覧・書き込み <input type="checkbox"/> SNS(LINE、Twitter、Instagramなど) <input type="checkbox"/> あてはまるものはない <input type="checkbox"/> その他()
質問10	あなたは、ひきこもりに関して、関係機関に相談したいと思いませんか。	<input type="checkbox"/> 非常に思う <input type="checkbox"/> 思う <input type="checkbox"/> 少し思う <input type="checkbox"/> 思わない
質問11	あなたは、ひきこもりに関して支援機関や医療機関を利用したことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい (<input type="checkbox"/> 継続的に利用している <input type="checkbox"/> 今は利用していない) <input type="checkbox"/> いいえ
質問12	ひきこもりの方ご本人は、ひきこもりに関して支援機関や医療機関を利用したことがありますか。	<input type="checkbox"/> はい (<input type="checkbox"/> 継続的に利用している <input type="checkbox"/> 今は利用していない) <input type="checkbox"/> いいえ

宮崎県では、 ひきこもり支援に関する ニーズ調査を行っています。

アンケートの
ご回答は
こちらから



または **宮崎県ひきこもり支援ニーズ調査** **検索**

<https://miyazaki-en-bridge.jp/hikikomori>

SNSによる
相談



電話相談

家族教室



生活面での
経済的支援

面接相談



就職相談
就職支援



etc...

ひきこもりに悩むご本人やご家族に最適な支援を行うためのアンケート調査です。ぜひご協力ください。

宮崎県ひきこもり支援に関する相談窓口

ひきこもって
6か月以上
なる...



どこに相談
すればいいか
わからない...



こんなお悩みで、
お困りではありませんか…?

LINEで
お気軽にご相談ください

【対象の方】

ひきこもりでお悩みの方、そのご家族
就職氷河期世代で就職のことについてお悩みの方(おおむね50歳
未満)、そのご家族

【受付時間】

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
(土曜・日曜・祝日・年末年始除く)



相談は無料です!お気軽にお問い合わせください!

宮崎県ひきこもり地域支援センター

【TEL】0985-27-8133 / 0985-44-2411

【住所】〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2

(宮崎県総合保健センター4階 宮崎県精神保健福祉センター内)

【受付時間】午前8時30分～午後5時15分

(土曜・日曜・祝日・年末年始除く)



宮崎県ひきこもり地域支援センター **検索**

各保健所や市町村でも相談を受け付けております。詳しくは裏面をご覧ください▶



〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号

宮崎県福祉保健部 障がい福祉課 TEL:0985-32-4471 / FAX:0985-26-7340

ひきこもりについての相談窓口

所 属	相 談 窓 口	電 話	備 考
宮 崎 県 <small>各保健所ではひきこもり・こころの健康相談以外にも相談を受け付けています。</small>	24時間子供SOSダイヤル(県教育委員会設置の教育相談窓口)	0120-0-78310	子供(小学生・中学生・高校生)が対象です
	中央保健所	0985-28-2111	
	日南保健所	0987-23-3141	ひきこもり・こころの健康相談 月1回/第4木曜日
	都城保健所	0986-23-4504	ひきこもり・こころの健康相談 月1回/第3木曜日
	小林保健所	0984-23-3118	ひきこもり・こころの健康相談 月1回/第4火曜日
	高鍋保健所	0983-22-1330	ひきこもり・こころの健康相談 月1回/第3木曜日
	日向保健所	0982-52-5101	ひきこもり・こころの健康相談 月1回/第3火曜日
	延岡保健所	0982-33-5373	ひきこもり・こころの健康相談 月1回/第3木曜日
	高千穂保健所	0982-72-2168	ひきこもり・こころの健康相談 3ヶ月に1回/第2水曜日
	宮崎県こども・若者総合相談センターわかば (18歳以下対象フリーダイヤル)	0985-41-7830 0120-730-130	メール:soudan@miyazaki-kowaka.jp
宮 崎 市	宮崎市自立相談支援センター「これから」	0985-42-9239	メール:10jiritsu@city.miyazaki.miyazaki.jp
	宮崎市中央保健センター(宮崎市保健所内)	0985-29-5281	
	宮崎市総合福祉保健センター(福祉文化公園内)	0985-52-1506	
	佐土原保健センター(佐土原総合支所南側)	0985-73-1115	
	田野保健センター(田野総合支所1階)	0985-86-0117	
	高岡福祉保健センター「穆園館」	0985-82-5294	
	清武保健センター(清武総合支所1階)	0985-85-1144	
都 城 市	都城市福祉部 福祉課	都城市生活自立相談センター 多機関協働センターすくらむ	0986-46-5325 0986-25-8349
	延 岡 市	延岡市なんでも総合相談センター	0982-20-7105 メール:nandemo@city.nobeoka.miyazaki.jp
日 南 市	日南市健康福祉部福祉課 まるごと福祉相談窓口	0987-31-1163	メール:f-kanri@city.nichinan.lg.jp
小 林 市	小林市健康福祉部福祉課 小林市生活自立相談支援センター	0984-23-0338	メール:kobayashi_jiritsu@io.ocn.ne.jp
	小林市社会福祉協議会 相談支援係	0984-23-3466	メール:kobayashi-syaky@wish.ocn.ne.jp
日 向 市	日向市福祉部 福祉課	高齢者:高齢者あんしん課高齢者支援係	0982-66-1022 メール:kourei@hyugacity.jp
		障がい者:福祉課障がい者支援係	0982-66-1019 メール:fukushi@hyugacity.jp
		生活困窮者:福祉課保護第1・第2係	0982-66-1020
		子ども(18歳未満):子ども課子育て支援係	0982-66-1021 メール:kodomo@hyugacity.jp
		健康・心の悩み:健康増進課健康づくり課	0982-66-1024 メール:kenkou@hyugacity.jp
串 間 市	串間市福祉事務所	0987-72-1123	メール:fukushi@city.kushima.lg.jp
	串間市社会福祉協議会	0987-72-6943	メール:kushishakyo@peach.ocn.ne.jp
	地域生活支援センター wing	0987-71-1578	メール:center-wing@aurora.ocn.ne.jp
西 都 市	西都市福祉事務所	0983-43-1206	メール:fukusi@city.saito.lg.jp
	えびの市	えびの市保健センター えびの市福祉課	0984-35-2446 0984-35-1115
三 股 町	三股町福祉課社会福祉係 福祉・消費生活相談センター	0986-52-0999	メール:f-soudan-mimata@cc.wakwak.com
高 原 町	高原町町民福祉課福祉係	0984-42-1067	メール:fukushi@town.takaharu.lg.jp
国 富 町	国富町福祉課	0985-75-9403	
綾 町	綾町健康センター	0985-77-0195	
高 鍋 町	高鍋町福祉課 地域福祉係	0983-26-2009	メール:fukushi@town.takanabe.lg.jp
	新富町福祉課社会福祉G	0983-33-6382	メール:shakaifukushi_g@town.shintomi.lg.jp
	児童福祉G(パブリカ)	0983-33-1293	メール:kosodarte_g@ton.shintomi.lg.jp
新 富 町	新富町社会福祉協議会	0983-33-4213	メール:shintomi-shakyo@viola.ocn.ne.jp
西米良村	西米良村福祉健康課 西米良村保健センター	0983-36-1114	
木 城 町	木城町福祉保健課 保健センター	0983-32-4010	
川 南 町	川南町福祉課 社会福祉係	0983-27-8007	
	川南町町民健康課 健康推進係	0983-27-8009	
都 農 町	都農町福祉課 社会福祉係	0983-25-5714	メール:fukusi@town.tsuno.lg.jp
	都農町健康管理センター	0983-25-1008	メール:kenkan@town.tsuno.lg.jp
門 川 町	門川町福祉課 NPO法人 地域支援センター つながり	080-8558-5481	
諸 塚 村	諸塚村住民福祉課 住民福祉課福祉相談窓口	0982-65-1119	
椎 葉 村	椎葉村福祉保健課 福祉グループ	0982-68-7512	
美 郷 町	美郷町健康福祉課	0982-66-3610	メール:kenfuku@town.miyazaki-misato.lg.jp
高千穂町	高千穂町福祉保険課	0982-73-1202	メール:fukushi@town-takachiho.jp
日之影町	日之影町町民福祉課	0982-87-3802	メール:fukushi@town.hinokage.lg.jp
五ヶ瀬町	五ヶ瀬町福祉課	0982-82-1702	
宮崎県補の会(ひきこもりの方本人の居場所や家族の会)			ホームページ:http://miyazaki-kusunokai.com
NPO法人 宮崎いのちの電話		0985-89-4343 0570-783-556	月・水・金・日 21:00~翌4:00 火・木・土 18:00~翌4:00 <small>死にたいくらいつらい 気持ちの時に話しを お伺いします。</small>
NPO法人 国際ビフレンダーズ 宮崎自殺防止センター		0985-77-9090	月・水・金・日 20:00~23:00
宮 崎 県 労 働 局	みやざき若者 サポート ステーション	宮崎本部	0985-25-4345
		サテライト都城	0986-36-6510
		サテライト延岡	0982-37-1190
			就労支援機関です。働きたいという気持ちになった際にご相談ください。